

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

223BCD10001

キャリアプログラムⅠ

Career program I

学科名

分野名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

ビジネスキャリア学科/
ビジネスキャリア学科Ⅱ部/
公務員学科/公務員学科Ⅱ部

全分野共通

1

前

3

1

講義

林 正基 / 花澤 徹

授業の概要

「キャリアプログラムⅠ」では、第1回から第20回までの間に、将来のキャリア選択を見据えた当校のキャリア教育の概要を説明し、ICTリテラシーの準準化とNET環境下における「ハイブリッド授業」への順応能力の養成を図る。同時に、専門分野の専攻ミスマッチを防ぐために、業界・業種・職種の説明や模擬授業の受講、担任やキャリアコンサルタントとの面談を実施し、ミスマッチの無い専門学校生活をスタート出来るように配慮して行く。第21回以降は、当校の定める「キャリア教育」の学習を行ってゆく。科目の特性上、主たる科目担当教員の他に適宜外部から講師を招聘し、オムニバス形式で開講する。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	各分野・章毎に設定された事項を修得し、説明できる。	○					
目標2	単元毎に設定された事項を習得し、実行、応用・発展させられる。	○				○	○
目標3	学習内容を実習へ一般化することができる。	○				○	○
目標4	ホスピタリティマインドを修得し、サービススキルを発揮できる。		○	○			
目標5	他者に対して傾聴・共感したり、自分の意見を主張できる。		○	○			
目標6	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。		○	○			
目標7	社会の規範を遵守し、周囲に対する配慮が実行できる		○		○		
目標8	各種検定試験に向けた学習計画を立案し、実行している。	○				○	○
目標9	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことができる。	○				○	
目標10	将来のキャリア開発に向けて、自主的に学習する。	○				○	○

コマ	授業計画（授業の具体的な実施内容）
1	ガイダンス(1) ①理事長講話 ②キャリア教育担当教員・自己紹介 ③2週間のキャリア教育の説明
2	オリエンテーション(1)⑥他已紹介⑦コース選択アンケート⑧定期券購入方法の説明（夜間部は「通勤・通学経路」の説明）⑨「連絡帳」記入・回収⑩個別相談（希望者のみ）
3	オリエンテーション(2)Chromebook研修（Classroom、Meet、カレンダー、Gmailその他）
4	オリエンテーション(3)Chromebook研修（Classroom、Meet、カレンダー、Gmailその他）
5	オリエンテーション(4)クレペリン検査実施 ※必要に応じて「提出物」回収
6	ガイダンス(2)①従来のキャリア教育の問題点と本校の考え方について ②2年間のカリキュラム内容とそれぞれの目的
7	社会人基礎力（経済産業省「人生100年時代のスキル・仕事上で必要な社会人基礎力」について）
8	民間企業と公務員（身分・仕事の目的・給料・採用・将来等）
9	仕事と学びを知る①【不動産の仕事】将来の職業選択・履修する授業の意味・デモ授業
10	仕事と学びを知る②【事務の仕事】将来の職業選択・履修する授業の意味・デモ授業
11	仕事と学びを知る③【販売・営業の仕事】将来の職業選択・履修する授業の意味・デモ授業
12	仕事と学びを知る④【ホテル・レストランの仕事】将来の職業選択・履修する授業の意味・デモ授業
13	仕事と学びを知る⑤【公務員:行政職・公安職の仕事】将来の職業選択・履修する授業の意味・デモ授業
14	講話(1)「BtoB型企業の魅力を学ぶ」株式会社ウエキコーポレーション
15	健康診断・キャリア個別面談①
16	健康診断・キャリア個別面談②
17	講話(2)「BtoB型企業の魅力を学ぶ」コンフェニックス株式会社
18	若年層の離職問題（新卒者による就職後3年間の離職率について、その理由と背景にある問題点を挙げ、事例に即して学習する。）
19	ガイダンス(3)日本人学生（自衛隊講話）留学生（進路に関する講話）
20	授業開始前の諸注意（各コース毎・授業別のClassroom活用方法、VOD教材の受講方法等の具体的説明）。

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	各授業内容の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に約30分～60分
事後学習	各授業毎にテキスト、参考資料の読み返し、意味調べ、指示された課題等への取り組み等
充当時間	各授業毎に約30分～60分
使用テキスト	「わたしのキャリアノート」東京商科・法科学院専門学校オリジナルテキスト
参考資料	事前にClassroomにて発表する。
参照データ	事前にClassroomにて発表する。

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の得点	80	○	○	○							
2	対象科目の検定対策等答練の得点	0		○	○					○		○
3	ミニテストの得点	10	○	○	○					○	○	
4	予習・復習に対する実施状況	0			○						○	
5	課題の達成状況	0									○	
6	課題の提出状況	10									○	
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	0							○			
8	理解度の低い学生への学習支援	0				○	○	○				
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	追試験を実施する場合は、別途連絡をする。
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	再試験を実施する場合は、別途連絡をする。

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	（花澤徹）キャリアコンサルタント（国家資格）、大学キャリア・アドバイザー（日本生産性本部）。全国49大学、4短期大学、5職業能力開発短期大学校、6専門学校、2公立中学校、1公立小学校でキャリア教育講座を担当。「リメディアル教育分野」として「SPI対策講座（言語・非言語）」、「就職筆記試験対策講座」、「玉手箱・SCOA・TG-WEB対策講座」、「CAB・GAB対策講座」（工学部系）、「作文・小論文試験対策講座」（工業系専門学校）を主な授業として展開。元「キャリアタス就活ナビ」SPI講座講師。日本キャリア教育学会正会員、日本リメディアル教育学会正会員。
-----------------	---

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	各授業内容の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に約30分～60分
事後学習	各授業毎にテキスト、参考資料の読み返し、意味調べ、指示された課題等への取り組み等
充当時間	各授業毎に約30分～60分
使用テキスト	「わたしのキャリアノート」東京商科・法科学院専門学校オリジナルテキスト
参考資料	事前にClassroomにて発表する。
参照データ	事前にClassroomにて発表する。

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の得点	80	○	○	○							
2	対象科目の検定対策等答練の得点	0		○	○					○		○
3	ミニテストの得点	10	○	○	○					○	○	
4	予習・復習に対する実施状況	0			○						○	
5	課題の達成状況	0									○	
6	課題の提出状況	10									○	
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	0							○			
8	理解度の低い学生への学習支援	0				○	○	○				
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	追試験を実施する場合は、別途連絡をする。
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	再試験を実施する場合は、別途連絡をする。

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	（花澤徹）キャリアコンサルタント（国家資格）、大学キャリア・アドバイザー（日本生産性本部）。全国49大学、4短期大学、5職業能力開発短期大学校、6専門学校、2公立中学校、1公立小学校でキャリア教育講座を担当。「リメディアル教育分野」として「SPI対策講座（言語・非言語）」、「就職筆記試験対策講座」、「玉手箱・SCOA・TG-WEB対策講座」、「CAB・GAB対策講座」（工学部系）、「作文・小論文試験対策講座」（工業系専門学校）を主な授業として展開。元「キャリアタス就活ナビ」SPI講座講師。日本キャリア教育学会正会員、日本リメディアル教育学会正会員。
-----------------	---

備考 夜間部の授業は45分×2＝1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

223BCD10002

キャリアプログラムⅡ

Career program II

学科名

分野名

学年 学期 単位数

週コマ 方法

科目担当教員

ビジネスキャリア学科/
ビジネスキャリア学科Ⅱ部/
公務員学科/公務員学科Ⅱ部

全分野共通

1

通

2

1

講義

林 正基 / 花澤 徹

授業の概要

「キャリアプログラムⅡ」では、第31回から第35回までの間に、当校の定める「キャリア教育」の学習を行ってゆく。第36回以降は「就職活動」に向けた取り組み方と具体的な選考方法別の対策を実施する。第48回、第49回は2年生の内定獲得者を交えた「パネルディスカッション」を実施し、経験者の報告を聴きながらも、参加者として質問や発言ができるような準備を行う。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	各分野・章毎に設定された事項を修得し、説明できる。	○					
目標2	単元毎に設定された事項を習得し、実行、応用・発展させられる。	○				○	○
目標3	学習内容を実習へ一般化することが出来る。	○				○	○
目標4	ホスピタリティマインドを修得し、サービススキルを発揮できる。		○	○			
目標5	他者に対して傾聴・共感したり、自分の意見を主張できる。		○	○			
目標6	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。		○	○			
目標7	社会の規範を遵守し、周囲に対する配慮が実行できる		○		○		
目標8	各種検定試験に向けた学習計画を立案し、実行している。	○				○	○
目標9	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。	○				○	
目標10	将来のキャリア開発に向けて、自主的に学習する。	○				○	○

コマ	授業計画（授業の具体的な実施内容）
31	会社とは（①会社の定義、事業目的、規模による相違点等②会社の組織形態と役割）
32	賃金（給料）と生活（①賃金と労働との関係②雇用形態別の生涯賃金と生活設計）
33	就職活動の概要（①就職活動への向き合い方、就職の目的、用語、スケジュール、採用試験等②高卒就職との相違点）
34	求人票と求職方法（①求人票の見方、記載事項、注意すべき視点等②採用情報や求職方法（就職サイト・HWの説明））
35	適性試験対策①（①自己学習への導き【学習方法、出題等傾向、注意点等】②出題頻度等・主問題解答解説③VODによる学習）
36	適性試験対策②（①自己学習への導き【学習方法、出題等傾向、注意点等】②出題頻度等・主問題解答解説③VODによる学習）
37	過去を振りかえるすごろくゲーム（「オリジナルすごろくゲーム」により、過去の判断や選択理由、その結果が現在の自分であることを認識）
38	履歴書の書き方（①履歴書、エントリーシートの書き方と注意点（採用側の位置づけ・志望動機自己PR除く）②履歴書の作成実習）
39	自己PRの書き方①（①過去の振り返り（事実・経験の洗い出し）「オリジナルすごろくゲーム」の結果を参考に②自己PRの書き方と注意点（悪い例文の提示））
40	志望動機の書き方①（志望動機の書き方と注意点（採用側の位置づけ、悪い例文の提示））
41	志望動機の書き方②（仮定企業の志望動機の作成実習【PC】）
42	筆記試験対策①（①自己学習への導き【学習方法、出題等傾向、注意点等】②出題頻度等・主問題解答解説③VODによる学習）
43	筆記試験対策②（①自己学習への導き【学習方法、出題等傾向、注意点等】②出題頻度等・主問題解答解説③VODによる学習）
44	筆記試験対策③（①自己学習への導き【学習方法、出題等傾向、注意点等】②出題頻度等・主問題解答解説③VODによる学習）
45	筆記試験対策④（①自己学習への導き【学習方法、出題等傾向、注意点等】②出題頻度等・主問題解答解説③VODによる学習）
46	就職活動の準備①（①清潔感を感じるスタイル、身だしなみ（好感度）【スーツ登校日】②スーツ、スラックス、スカート、シャツ、ネクタイ、バック、お化粧、携行品）
47	就職活動の準備②（郵送、メール、電話等、企業対応の方法と注意点（実習含む））
48	パネルディスカッション①（【職種A】内定者（2年生）の就職活動の経験、質疑応答形式によるパネルディスカッション（3～5名程度））
49	パネルディスカッション②（【職種B】内定者（2年生）の就職活動の経験、質疑応答形式によるパネルディスカッション（3～5名程度））
50	1年後期A総括（①1年後期の履修内容のまとめ②単位認定試験＜履歴書作成＞）

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	各授業内容の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に約30分～60分
事後学習	各授業毎にテキスト、参考資料の読み返し、意味調べ、指示された課題等への取り組み等
充当時間	各授業毎に約30分～60分
使用テキスト	「わたしのキャリアノート」東京商科・法科学院専門学校オリジナルテキスト
参考資料	事前にClassroomにて発表する。
参照データ	事前にClassroomにて発表する。

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の得点	80	○	○	○							
2	対象科目の検定対策等答練の得点	0		○	○					○		○
3	ミニテストの得点	10	○	○	○					○	○	
4	予習・復習に対する実施状況	0			○						○	
5	課題の達成状況	0									○	
6	課題の提出状況	10									○	
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	0							○			
8	理解度の低い学生への学習支援	0				○	○	○				
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	追試験を実施する場合は、別途連絡をする。
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	再試験を実施する場合は、別途連絡をする。

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	（花澤徹）キャリアコンサルタント（国家資格）、大学キャリア・アドバイザー（日本生産性本部）。全国49大学、4短期大学、5職業能力開発短期大学校、6専門学校、2公立中学校、1公立小学校でキャリア教育講座を担当。「リメディアル教育分野」として「SPI対策講座（言語・非言語）」、「就職筆記試験対策講座」、「玉手箱・SCOA・TG-WEB対策講座」、「CAB・GAB対策講座」（工学部系）、「作文・小論文試験対策講座」（工業系専門学校）を主な授業として展開。元「キャリアタス就活ナビ」SPI講座講師。日本キャリア教育学会正会員、日本リメディアル教育学会正会員。
-----------------	---

備考 夜間部の授業は45分×2＝1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	各授業内容の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に約30分～60分
事後学習	各授業毎にテキスト、参考資料の読み返し、意味調べ、指示された課題等への取り組み等
充当時間	各授業毎に約30分～60分
使用テキスト	「わたしのキャリアノート」東京商科・法科学院専門学校オリジナルテキスト
参考資料	事前にClassroomにて発表する。
参照データ	事前にClassroomにて発表する。

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の得点	80	○	○	○							
2	対象科目の検定対策等答練の得点	0		○	○					○		○
3	ミニテストの得点	10	○	○	○					○	○	
4	予習・復習に対する実施状況	0			○						○	
5	課題の達成状況	0									○	
6	課題の提出状況	10									○	
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	0							○			
8	理解度の低い学生への学習支援	0				○	○	○				
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	追試験を実施する場合は、別途連絡をする。
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	再試験を実施する場合は、別途連絡をする。

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	（花澤徹）キャリアコンサルタント（国家資格）、大学キャリア・アドバイザー（日本生産性本部）。全国49大学、4短期大学、5職業能力開発短期大学校、6専門学校、2公立中学校、1公立小学校でキャリア教育講座を担当。「リメディアル教育分野」として「SPI対策講座（言語・非言語）」、「就職筆記試験対策講座」、「玉手箱・SCOA・TG-WEB対策講座」、「CAB・GAB対策講座」（工学部系）、「作文・小論文試験対策講座」（工業系専門学校）を主な授業として展開。元「キャリアタス就活ナビ」SPI講座講師。日本キャリア教育学会正会員、日本リメディアル教育学会正会員。
-----------------	---

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	各授業内容の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に約30分～60分
事後学習	各授業毎にテキスト、参考資料の読み返し、意味調べ、指示された課題等への取り組み等
充当時間	各授業毎に約30分～60分
使用テキスト	「わたしのキャリアノート」東京商科・法科学院専門学校オリジナルテキスト
参考資料	事前にClassroomにて発表する。
参照データ	事前にClassroomにて発表する。

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標											
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10		
1	単位認定試験の筆記試験の得点	80	○	○	○									
2	対象科目の検定対策等答練の得点	0		○	○						○			○
3	ミニテストの得点	10	○	○	○						○	○		
4	予習・復習に対する実施状況	0			○								○	
5	課題の達成状況	0											○	
6	課題の提出状況	10											○	
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	0								○				
8	理解度の低い学生への学習支援	0				○	○	○						
9														
10														

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	追試験を実施する場合は、別途連絡をする。
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	再試験を実施する場合は、別途連絡をする。

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	（花澤徹）キャリアコンサルタント（国家資格）、大学キャリア・アドバイザー（日本生産性本部）。全国49大学、4短期大学、5職業能力開発短期大学校、6専門学校、2公立中学校、1公立小学校でキャリア教育講座を担当。「リメディアル教育分野」として「SPI対策講座（言語・非言語）」、「就職筆記試験対策講座」、「玉手箱・SCOA・TG-WEB対策講座」、「CAB・GAB対策講座」（工学部系）、「作文・小論文試験対策講座」（工業系専門学校）を主な授業として展開。元「キャリアタス就活ナビ」SPI講座講師。日本キャリア教育学会正会員、日本リメディアル教育学会正会員。
-----------------	---

備考 夜間部の授業は45分×2＝1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名 (日本語)

授業科目名 (英語)

223BCD10005

キャリアプログラムV

Career program V

学科名

分野名

学年 学期 単位数

週コマ 方法

科目担当教員

ビジネスキャリア学科/
ビジネスキャリア学科II部/
公務員学科/公務員学科II部

全分野共通

2

通

2

1

講義

林 正基 / 花澤 徹

授業
の
概
要

「キャリアプログラムV」では、第71回から76回までに、社会人の給料体系の基礎知識と、法律知識を修得する。第77回から第82回では、各ライフ・イベント毎の諸経費(費用)に関するトピックスを学習する。第83回から86回までは、新たなキャリアチェンジとして離職時の対応方法と再就職への手法と、各種保険関係の手続き方法を学習する。第88回から90回では、「人生100年時代」のキャリアプランニングと、外部講師を招聘して「最上のビジネスマナー」を修得する。第90回では、2年後期の総括と単位認定試験を実施する。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	各分野・章毎に設定された事項を修得し、説明できる。	○					
目標2	単元毎に設定された事項を習得し、実行、応用・発展させられる。	○				○	○
目標3	学習内容を実習へ一般化することが出来る。	○				○	○
目標4	ホスピタリティマインドを修得し、サービススキルを発揮できる。		○	○			
目標5	他者に対して傾聴・共感したり、自分の意見を主張できる。		○	○			
目標6	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。		○	○			
目標7	社会の規範を遵守し、周囲に対する配慮が実行できる		○		○		
目標8	各種検定試験に向けた学習計画を立案し、実行している。	○				○	○
目標9	予習・復習の習慣が身につき、問題意識を持つことが出来る。	○				○	
目標10	将来のキャリア開発に向けて、自主的に学習する。	○				○	○

コマ	授業計画 (授業の具体的な実施内容)
71	正社員の給料①②アルバイトの給料との違いをダミーの給料明細書により説明②支給項目(基本給・各種手当)の説明と固定残業手当の注意点、定期昇給とベースアップ
72	正社員の給料②③控除項目の説明(所得税・住民税)②控除項目の説明(雇用保険・健康保険・厚生年金保険の概略)・・・各保険制度の詳細は別カリキュラム
73	正社員の給料③年末調整とは(年末調整のしくみ、源泉徴収票、確定申告、市区町村への情報提供)ふるさと納税
74	働く上での法律知識①労働基準法による働く上での基本的なルール
75	働く上での法律知識②労働基準法による働く上での基本的なルール
76	働く上での法律知識③労働基準法による働く上での基本的なルール
77	ライフプラン・イベント①①賃貸住居、自己所有住宅に関する、それぞれのメリットとデメリット②賃貸住宅に関する費用(入居時・月次・退去時・加入保険等)
78	ライフプラン・イベント②①自己所有取得(自宅)に関する費用(物件情報・購入頭金・住宅ローン・諸費用・諸税・固定資産税含む維持費等)②自己所有売却(自
79	ライフプラン・イベント③①結婚の自由、婚約から結婚までの一般的な流れ②結婚に関する費用相場(婚約、結婚式、披露宴の形態、実施場所等)
80	ライフプラン・イベント④①子の妊娠から出産までの費用と公的支援制度②育児に関する費用、進学費用の概算と公的奨学金制度
81	ライフプラン・イベント⑤老後(70歳)の多様な生き方と生活費用、医療費、介護費用等
82	ライフプラン・イベント⑥①資産形成の考え方とその方法②安全性・換金性・投資性に基づく金融商品の概要
83	離職時の対応と再就職①離職をする前に確認や考えるべきこと(衝動的ではなく計画の必要性)②再就職に向けての準備と求職方法、求職者に対する採用側の視点(新
84	雇用保険・労災保険の概要①雇用保険の概要について、会社での手続きとHWでの手続き②労災保険の概要と適用条件
85	健康保険の概要①健康保険の概要について②離職時の選択と手続き(任意継続・国民健康保険それぞれの概要)
86	厚生年金保険の概要①国民年金保険と厚生年金保険の概要について②離職時の手続き(国民年金保険、被扶養者の対応)
87	人生100年時代を考える④①「私の未来予想図」(キャリアI-26)の修正検討と資金関係追記の説明②「私の未来予想図」作成実習
88	人生100年時代を考える⑤入社時の手続き①「私の未来予想図」作成実習②入社時に実施する一般的な諸手続きの説明
89	社会人のビジネスマナー最上級のビジネスマナーを学ぶ(講師はJALビジネスキャリアサポートを想定)
90	2年後期A総括①2年後期Aの履修内容のまとめ②単位認定試験(私の未来予想図)

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	各授業内容の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に約30分～60分
事後学習	各授業毎にテキスト、参考資料の読み返し、意味調べ、指示された課題等への取り組み等
充当時間	各授業毎に約30分～60分
使用テキスト	「わたしのキャリアノート」東京商科・法科学院専門学校オリジナルテキスト
参考資料	事前にClassroomにて発表する。
参照データ	事前にClassroomにて発表する。

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	80	○	○	○							
2	対象科目の検定対策等答練の得点	0		○	○					○		○
3	ミニテストの得点	10	○	○	○					○	○	
4	予習・復習に対する実施状況	0			○						○	
5	課題の達成状況	0									○	
6	課題の提出状況	10									○	
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	0							○			
8	理解度の低い学生への学習支援	0				○	○	○				
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	追試験を実施する場合は、別途連絡をする。
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	再試験を実施する場合は、別途連絡をする。

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	（花澤徹）キャリアコンサルタント（国家資格）、大学キャリア・アドバイザー（日本生産性本部）。全国49大学、4短期大学、5職業能力開発短期大学校、6専門学校、2公立中学校、1公立小学校でキャリア教育講座を担当。「リメディアル教育分野」として「SPI対策講座（言語・非言語）」、「就職筆記試験対策講座」、「玉手箱・SCOA・TG-WEB対策講座」、「CAB・GAB対策講座」（工学部系）、「作文・小論文試験対策講座」（工業系専門学校）を主な授業として展開。元「キャリアタス就活ナビ」SPI講座講師。日本キャリア教育学会正会員、日本リメディアル教育学会正会員。
-----------------	---

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	各授業内容の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に約30分～60分
事後学習	各授業毎にテキスト、参考資料の読み返し、意味調べ、指示された課題等への取り組み等
充当時間	各授業毎に約30分～60分
使用テキスト	「わたしのキャリアノート」東京商科・法科学院専門学校オリジナルテキスト
参考資料	事前にClassroomにて発表する。
参照データ	事前にClassroomにて発表する。

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
			1	単位認定試験の得点	80	○	○	○				
2	対象科目の検定対策等答練の得点			○	○					○		○
3	ミニテストの得点	10	○	○	○					○	○	
4	予習・復習に対する実施状況				○						○	
5	課題の達成状況										○	
6	課題の提出状況	10									○	
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）								○			
8	理解度の低い学生への学習支援					○	○	○				
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	追試験を実施する場合は、別途連絡をする。
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	再試験を実施する場合は、別途連絡をする。

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	（花澤徹）キャリアコンサルタント（国家資格）、大学キャリア・アドバイザー（日本生産性本部）。全国49大学、4短期大学、5職業能力開発短期大学校、6専門学校、2公立中学校、1公立小学校でキャリア教育講座を担当。「リメディアル教育分野」として「SPI対策講座（言語・非言語）」、「就職筆記試験対策講座」、「玉手箱・SCOA・TG-WEB対策講座」、「CAB・GAB対策講座」（工学部系）、「作文・小論文試験対策講座」（工業系専門学校）を主な授業として展開。元「キャリアタス就活ナビ」SPI講座講師。日本キャリア教育学会正会員、日本リメディアル教育学会正会員。
-----------------	---

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名 (日本語)

授業科目名 (英語)

223BCD10011

クラス演習Ⅰ

classroom activities Ⅰ

学科名

分野名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

ビジネスキャリア学科/
ビジネスキャリア学科Ⅱ部/
公務員学科/公務員学科Ⅱ部

全分野共通

1

前

1

1

演習

八木 誠/東郷 睦

授業の概要

【昼間部】クラス活動に対する連絡の徹底、就職活動準備、個人面談等について適宜実施予定。
【夜間部】学生には「期末レポート」の作成、特に①月間目標②目標達成の具体的方策③自己評価と反省を考えるように指導している。その他、クラス活動に対する連絡の徹底、就職活動準備、個人面談等について適宜実施予定。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	各分野・章毎に設定された事項を修得し、説明できる。	○					
目標2	単元毎に設定された事項を習得し、実行、応用・発展させられる。	○				○	○
目標3	学習内容を実習へ一般化することが出来る。	○				○	○
目標4	ホスピタリティマインドを修得し、サービススキルを発揮できる。		○	○			
目標5	他者に対して傾聴・共感したり、自分の意見を主張できる。		○	○			
目標6	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。		○	○			
目標7	社会の規範を遵守し、周囲に対する配慮が実行できる		○		○		
目標8	各種検定試験に向けた学習計画を立案し、実行している。	○				○	○
目標9	予習・復習の習慣が身につき、問題意識を持つことが出来る。	○				○	
目標10	将来のキャリア開発に向けて、自主的に学習する。	○				○	○

コマ	授業計画 (授業の具体的な実施内容)
1	学科目標、各学科教育課程表、シラバス、授業・試験についての確認
2	学科目標、各学科教育課程表、シラバス、授業・試験についての確認
3	連絡事項、個人面談等
4	連絡事項、個人面談等
5	連絡事項、個人面談等
6	連絡事項、個人面談等
7	連絡事項、個人面談等
8	連絡事項、個人面談等
9	連絡事項、個人面談等
10	連絡事項、個人面談等
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	各授業内容の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に約30分
事後学習	課題に取り組む。学習した内容をテキストで復習する。
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	特に指定なし（使用する場合は予めClassrrom等で連絡します）。
参考資料	特に指定なし（参照指定する場合は予めClassrrom等で連絡します）。
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の得点	80	○	○	○							
2	対象科目の検定対策等答練の得点	0		○	○					○		○
3	ミニテストの得点	0	○	○	○					○	○	
4	予習・復習に対する実施状況	0			○						○	
5	課題の達成状況	0									○	
6	課題の提出状況	0									○	
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	20							○			
8	理解度の低い学生への学習支援	0				○	○	○				
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・無	追試験を実施する場合は、別途連絡をする。
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・無	再試験を実施する場合は、別途連絡をする。

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名 (日本語)

授業科目名 (英語)

223BCD10012

クラス演習Ⅱ

classroom activities Ⅱ

学科名

分野名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

ビジネスキャリア学科/
ビジネスキャリア学科Ⅱ部/
公務員学科/公務員学科Ⅱ部

全分野共通

1

後

1

1

演習

八木 誠/東郷 睦

授業の概要

【昼間部】クラス活動に対する連絡の徹底、就職活動準備、個人面談等について適宜実施予定。
【夜間部】学生には「期末レポート」の作成、特に①月間目標②目標達成の具体的方策③自己評価と反省を考えるように指導している。その他、クラス活動に対する連絡の徹底、就職活動準備、個人面談等について適宜実施予定。

具体的な到達目標とDP等への対応

1	2	3	4	5	6
○					
○				○	○
○				○	○
	○	○			
	○	○			
	○	○			
	○		○		
○				○	○
○				○	
○				○	○

コマ

授業計画 (授業の具体的な実施内容)

1	連絡事項、個人面談等
2	連絡事項、個人面談等
3	連絡事項、就職活動準備等
4	連絡事項、就職活動準備等
5	連絡事項、個人面談等
6	連絡事項、個人面談等
7	連絡事項、個人面談等
8	連絡事項、就職活動準備等
9	連絡事項、就職活動準備等
10	連絡事項、就職活動準備等
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	各授業内容の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に約30分
事後学習	課題に取り組む。学習した内容をテキストで復習する。
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	特に指定なし（使用する場合は予めClassrrom等で連絡します）。
参考資料	特に指定なし（参照指定する場合は予めClassrrom等で連絡します）。
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
			1	単位認定試験の筆記試験の得点	80	○	○	○				
2	対象科目の検定対策等答練の得点	0		○	○					○		○
3	ミニテストの得点	0	○	○	○					○	○	
4	予習・復習に対する実施状況	0			○						○	
5	課題の達成状況	0									○	
6	課題の提出状況	0									○	
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	20							○			
8	理解度の低い学生への学習支援	0				○	○	○				
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	追試験を実施する場合は、別途連絡をする。
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	再試験を実施する場合は、別途連絡をする。

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名 (日本語)

授業科目名 (英語)

223BCD10061

eビジネス

e-business program

学科名

分野名

学年 学期 単位数

週コマ 方法

科目担当教員

ビジネスキャリア学科/
ビジネスキャリア学科II部/
公務員学科/公務員学科II部

全分野共通

2

後

2

1

演習

東郷 睦

授業の概要

Google Workspace は Google が提供しているクラウド型のグループウェアサービスです。Google Workspace の「オンラインストレージ」「ビデオ会議」「スプレッドシート」「ドキュメント」の使用方法を学習し、組織生産性を高めるための業務効率化ツールをマスターします。また、ノーコードでWebサイトを構築できるWordPressの基本操作をマスターします。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	各科目の基礎知識について、自分の得意分野と不得意分野に判別できる。	○	○				
目標2	各科目の基礎知識について、得意分野と不得意分野毎に対策を策定できる。	○	○			○	
目標3	各科目の基礎知識について、第三者に説明できる。	○	○	○			
目標4	各章・各単元毎に設定された基本事項を判別し、応用できる。	○	○			○	
目標5	学習内容を社会生活へ一般化させる計画を立案できる。				○		○
目標6	学習内容を社会生活へ一般化させる計画を実行できる。			○	○	○	○
目標7	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。		○			○	○
目標8	検定・資格取得に向けた学習計画を実行できる。					○	○
目標9	理解度の低い学生への学習支援ができる。			○			○
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。					○	○

コマ	授業計画 (授業の具体的な実施内容)
1	Google Workspaceとは
2	google Workspaceの基本1 (メール、カレンダー、ドライブ)
3	google Workspaceの基本2 (メール、カレンダー、ドライブ)
4	google Workspaceの応用1 (ドキュメント・スプレッドシート・スライド)
5	google Workspaceの応用2 (ドキュメント・スプレッドシート・スライド)
6	google Workspaceの応用3 (ドキュメント・スプレッドシート・スライド)
7	google Workspaceの応用4 (ドキュメント・スプレッドシート・スライド)
8	google Workspaceの応用7 (フォーム、アンケート)
9	google Workspaceの応用8 (フォーム、統計調査)
10	google Workspaceの応用9 (Meet)
11	google Workspaceの応用10 (ジャムボード)
12	WordPressとは
13	WordPressの基本操作1
14	WordPressの基本操作2
15	WordPressの基本操作3
16	WordPressの応用1 (Webショップ構築)
17	WordPressの応用2 (Webショップ構築)
18	WordPressの応用3 (Webショップ構築)
19	WordPressの応用4 (Webショップ構築)
20	単位認定試験

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	各授業内容の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に約30分程度
事後学習	学習した内容について、指示された課題があれば行う（宿題）。
充当時間	約30分～1時間程度
使用テキスト	特になし
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	0	○	○	○	○	○					○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	0				○			○			
3	ミニテストの得点	0		○	○	○						
4	予習・復習に対する実施状況	0						○	○			○
5	課題の達成状況	20						○				
6	課題の提出状況	10						○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10									○	
8	理解度の低い学生への学習支援	0								○		
9	課題発表会の発表内容	60	○	○	○	○	○					○
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・無	追試験を実施する場合は、別途連絡をする。
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・無	再試験を実施する場合は、別途連絡をする。

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	専門学校で情報処理技術者資格、プログラミング(COBOL・Pascal・Java・C) & Web系 (HTML・CSS・JavaScript・CGI・Perl)、ネットワーク (シスコ認定資格CCNA・ナクシー (NACSE) 認定資格、VineLinuxによるサーバー構築)教育に携わる。マイクロソフト認定資格MCP(Microsoft Certifications Program)&MOT(Microsoft Official Trainer) を取得し、オフィス系ソフト(Excel・Word・Access・PowerPoint・VisualBasic・ExcelVBA) に関する授業に携わる。
-----------------	---

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名 (日本語)

授業科目名 (英語)

223BCD10071

サービス接遇Ⅰ

Service mind & operation basic

学科名

分野名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

ビジネスキャリア学科/
ビジネスキャリア学科Ⅱ部/
公務員学科/公務員学科Ⅱ部

全分野共通

2

前

2

1

講義

花澤 徹

授業
の
概
要

仕事に必要な不可欠な「サービス」の概念の理解と、「サービス」の適切・不適切を場面に応じて検討し、それぞれの理由を明確にしつつ共有することで、「サービス」に対する自分自身の考え方を構築させます。「サービス接遇検定試験2級」(12月受験)の全員合格を目標に、集中的に学習する科目です。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	各分野・章毎に設定された事項を修得し、説明できる。	○					
目標2	単元毎に設定された事項を習得し、実行、応用・発展させられる。	○				○	○
目標3	学習内容を実習へ一般化することが出来る。	○				○	○
目標4	ホスピタリティマインドを修得し、サービススキルを発揮できる。		○	○			
目標5	他者に対して傾聴・共感したり、自分の意見を主張できる。		○	○			
目標6	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。		○	○			
目標7	社会の規範を遵守し、周囲に対する配慮が実行できる		○		○		
目標8	各種検定試験に向けた学習計画を立案し、実行している。	○				○	○
目標9	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。	○				○	
目標10	将来のキャリア開発に向けて、自主的に学習する。	○				○	○

コマ	授業計画 (授業の具体的な実施内容)
1	授業説明、検定試験の概要説明、Ⅰ サービススタッフの資質 (2級対策のポイント)
2	Ⅰ サービススタッフの資質、過去問題からの学習
3	Ⅰ サービススタッフの資質、過去問題からの学習、Ⅱ 専門知識
4	Ⅱ 専門知識 (商業用語・経済用語のプリント+小テスト)
5	Ⅱ 専門知識 (商業用語・経済用語のプリント+小テスト)、過去問題からの学習
6	Ⅱ 専門知識 (商業用語・経済用語の実例と総復習、テスト)、過去問題からの学習
7	Ⅲ 一般常識 (常識問題のプリント+小テスト)
8	Ⅲ 一般常識 (常識問題のプリント+小テスト)、過去問題からの学習 (賀寿・年中行事の例、ポイント)
9	Ⅲ 一般常識 (常識問題のプリント+小テスト)、過去問題からの学習 (二十四節季・六輝六曜の例、ポイント)
10	Ⅲ 一般常識 (常識問題のプリント+小テスト)、過去問題からの学習 (結婚記念日・身体部位等の慣用表現)
11	Ⅳ 対人技能 (接遇用語のプリント+小テスト)、話し方の実例 (接遇用語等)
12	Ⅳ 対人技能 (接遇用語のプリント+小テスト)、説明・提示の実例、服装 (ドレスコード・プロトコール)
13	Ⅴ 実務技能 (常識問題のプリント+小テスト)、サービスマナー (「おもてなし検定」から引用)
14	Ⅴ 実務技能 (常識問題のプリント+小テスト)、サービスマナー (祝儀不祝儀、贈答品の扱い方)
15	Ⅴ 実務技能 (常識問題のプリント+小テスト)、総復習
16	過去問題の答案練習
17	過去問題の答案練習
18	過去問題の答案練習
19	過去問題の答案練習
20	サービス接遇検定2級試験、単位認定試験

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	指定された範囲のテキストを読み、自習する。
充当時間	30分程度
事後学習	学習した内容の復習を行い、指示された課題を行う（宿題）。
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	サービス接客検定 2級公式テキスト（実務技能検定協会）、サービス接客検定 2級実問題集（実務技能検定協会）
参考資料	その都度指定して、授業内で配布予定。
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○					○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	20				○			○			
3	ミニテストの得点	0		○	○	○						
4	予習・復習に対する実施状況	0						○	○			○
5	課題の達成状況	0						○				
6	課題の提出状況	0						○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	20									○	
8	理解度の低い学生への学習支援	0								○		
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	追試験を実施する場合は、別途連絡をする。
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	再試験を実施する場合は、別途連絡をする。

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	「浦安ブライトンホテル」（現「浦安ブライトンホテル東京ベイ」）宴会部婚礼営業課で婚礼営業・受注・施工を担当。ブライダルサロンでチーフとして年間650組の婚礼受注業務に従事。同時に、宴会サービススタッフとして婚礼宴会・一般宴会のサービス担当。JHMA認定「ホスピタリティ・コーディネータ」として、「アシスト・ホスピタリティ・コーディネータ」の養成に従事。
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名 (日本語)

授業科目名 (英語)

223BCD10072

サービス接客Ⅱ

Service mind & operation advance

学科名

分野名

学年 学期 単位数

週コマ 方法

科目担当教員

ビジネスキャリア学科/
ビジネスキャリア学科Ⅱ部/
公務員学科/公務員学科Ⅱ部

全分野共通

2

後

1

2

講義

花澤 徹

授業の概要

「サービス」の概念と語源、その変遷から現在あるべき姿の「サービス」について、学習した内容を基本として考察します。在学中の最終目標は「サービス接客検定2級」合格です。ここでは検定試験対策からいったん離れ、実際の仕事において「サービス」に関する新たな課題を問題としてとらえ、実際の「サービス」にどのように反映させるか、考察して発表します。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	各分野・章毎に設定された事項を修得し、説明できる。	○					
目標2	単元毎に設定された事項を習得し、実行、応用・発展させられる。	○				○	○
目標3	学習内容を実習へ一般化することが出来る。	○				○	○
目標4	ホスピタリティマインドを修得し、サービススキルを発揮できる。		○	○			
目標5	他者に対して傾聴・共感したり、自分の意見を主張できる。		○	○			
目標6	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。		○	○			
目標7	社会の規範を遵守し、周囲に対する配慮が実行できる		○		○		
目標8	各種検定試験に向けた学習計画を立案し、実行している。	○				○	○
目標9	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。	○				○	
目標10	将来のキャリア開発に向けて、自主的に学習する。	○				○	○

コマ	授業計画 (授業の具体的な実施内容)
1	1. 「サービスとは (ホスピタリティとサービスの本質的な違いについて)」 ※JHMA、新川義弘のインタビュー記事
2	2. 「何が『求められているサービス』なのか ※小鈴敦と山田耕太郎の違い、徳淵真利子、高橋滋、
3	3. 「1日の時間」をどう活用するか ※森田直行、守谷雄司、広野道子、安田佳生、吉川美樹、上田準二
4	4. 「睡眠を売るサービス」 ※スーパーホテル「～お客様からのお便り集～Vol.11」
5	5. 何がサービスか ※「レストランひらまつ」、「オテルドゥ ミクニ」
6	6. サービスする側の論理 ※「雅叙園」(鹿児島県)
7	7. 「売ること」とは ※「ヴィラ風の音」、「里山十帖」、
8	8. できないことは無い ※塚原寛、リッツカールトン・ホテル (東京・大阪)
9	9. これからのサービスの在り方 ※「板室温泉大黒屋」
10	単位認定試験 (個別の事例発表会)
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	各授業内容の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に約30分～60分
事後学習	各授業毎にテキスト、参考資料の読み返し、意味調べ、指示された課題等への取り組み等
充当時間	各授業毎に約30分～60分
使用テキスト	「リッツカールトン 一瞬で心が通う『言葉がけ』の習慣」高野登、ISDN9784534048578
参考資料	「ホスピタリティ・コーディネータ教本」JHMA（NPO法人日本ホスピタリティ推進協会）発行、その他用意した資料を随時配布、公開します。「ホテルオークラ（橋本流）クレーム対応術」橋本保雄、ISDN4804715053、、「リッツ・カールトン20の秘密」井上富紀子・リコドゥブランク、ISDN9784903721026
参照データ	特になし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標											
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10		
1	単位認定試験の得点	60	○	○	○									
2	対象科目の検定対策等答練の得点	0		○	○							○		○
3	ミニテストの得点	20	○	○	○							○	○	
4	予習・復習に対する実施状況	5			○								○	
5	課題の達成状況	5											○	
6	課題の提出状況	5											○	
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	0								○				
8	理解度の低い学生への学習支援	5				○	○	○						
9														
10														

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	追試験を実施する場合は、別途連絡をする。
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	再試験を実施する場合は、別途連絡をする。

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	「浦安ブライトンホテル」（現「浦安ブライトンホテル東京ベイ」）宴会部婚礼営業課で婚礼営業・受注・施工を担当。プライダルサロンでチーフとして年間650組の婚礼受注業務に従事。同時に、宴会サービススタッフとして婚礼宴会・一般宴会のサービス担当。JHMA認定「ホスピタリティ・コーディネータ」として、「アシスト・ホスピタリティ・コーディネータ」の養成に従事。
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2＝1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名 (日本語)

授業科目名 (英語)

223BCD10041

Word2019 I

Microsoftoffice Word2019 training I

学科名

分野名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

ビジネスキャリア学科/
ビジネスキャリア学科II部/
公務員学科/公務員学科II部

全分野共通

1

前

2

2

実習

東郷 睦

授業の概要

Microsoft Office Specialist(MOS)Wordに必要なアプリケーションの機能と操作方法を学習します。MOS (Word) エキスパートの検定試験合格を目標とした学習内容です。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	各科目の基礎知識について、自分の得意分野と不得意分野に判別できる。	○	○				
目標2	各科目の基礎知識について、得意分野と不得意分野毎に対策を策定できる。	○	○			○	
目標3	各科目の基礎知識について、第三者に説明できる。	○	○	○			
目標4	各章・各単元毎に設定された基本事項を判別し、応用できる。	○	○			○	
目標5	学習内容を社会生活へ一般化させる計画を立案できる。				○		○
目標6	学習内容を社会生活へ一般化させる計画を実行できる。			○	○	○	○
目標7	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。		○			○	○
目標8	検定・資格取得に向けた学習計画を実行できる。					○	○
目標9	理解度の低い学生への学習支援ができる。			○			○
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。					○	○

コマ	授業計画 (授業の具体的な実施内容)
1	ガイダンス・第1章 文書の作成と管理(文書内移動・文書書式設定・保存共有)
2	・第2章 文書の作成と管理 (文書検査) 文字・段落・セクションの書式設定(段落書式設定、セクション設定)
3	・第3章 表のリスト作成 (表作成、変更、リスト作成、変更、編集)
4	・第4章 参考資料の作成と管理 (参照の要素作成、一覧変更)
5	・第4章 参考資料の作成と管理 (参照の要素編集、管理)
6	・第5章 グラフィック要素の挿入と書式設定 (図、テキストボックス挿入)
7	・第5章 グラフィック要素の挿入と書式設定 (書式設定、テキストの追加)
8	・第6章 文書の共同作業管理 (コメント追加、管理、変更履歴を管理)
9	・第6章 文書の共同作業管理 (変更履歴を管理)
10	・総合問題課題作成・単位認定試験 (課題ファイル提出)
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	各授業内容の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に約30分
事後学習	学習した内容をテキストで復習する。
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	「MOS攻略問題集Word 365&2019エキスパート」日経BP社、ISBN9784296050055
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○					○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10				○			○			
3	ミニテストの得点	20		○	○	○						
4	予習・復習に対する実施状況	0						○	○			○
5	課題の達成状況	0						○				
6	課題の提出状況	0						○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5									○	
8	理解度の低い学生への学習支援	5								○		
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・無	追試験を実施する場合は、別途連絡をする。
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・無	再試験を実施する場合は、別途連絡をする。

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	専門学校で情報処理技術者資格、プログラミング(COBOL・Pascal・Java・C) & Web系 (HTML・CSS・JavaScript・CGI・Perl)、ネットワーク (シスコ認定資格CCNA・ナクシー (NACSE) 認定資格、VineLinuxによるサーバー構築)教育に携わる。マイクロソフト認定資格MCP(Microsoft Certifications Program)&MOT(Microsoft Official Trainer) を取得し、オフィス系ソフト(Excel・Word・Access・PowerPoint・VisualBasic・ExcelVBA) に関する授業に携わる。
-----------------	---

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名 (日本語)

授業科目名 (英語)

223BCD10042

Word2019 II

Microsoftoffice Word2019 training II

学科名

分野名

学年

学期

単位数

選コマ

方法

科目担当教員

ビジネスキャリア学科/
ビジネスキャリア学科II部/
公務員学科/公務員学科II部

全分野共通

1

後

1

2

実習

東郷 睦

授業の概要

Microsoft Office Specialist(MOS)Excelに必要なアプリケーションの機能と操作方法を学習します。MOS (Excel) エキスパートの検定試験合格を目標とした学習内容です。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	各科目の基礎知識について、自分の得意分野と不得意分野に判別できる。	○	○				
目標2	各科目の基礎知識について、得意分野と不得意分野毎に対策を策定できる。	○	○			○	
目標3	各科目の基礎知識について、第三者に説明できる。	○	○	○			
目標4	各章・各単元毎に設定された基本事項を判別し、応用できる。	○	○			○	
目標5	学習内容を社会生活へ一般化させる計画を立案できる。				○		○
目標6	学習内容を社会生活へ一般化させる計画を実行できる。			○	○	○	○
目標7	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。		○			○	○
目標8	検定・資格取得に向けた学習計画を実行できる。					○	○
目標9	理解度の低い学生への学習支援ができる。			○			○
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。					○	○

コマ

授業計画 (授業の具体的な実施内容)

1	模擬試験 第1回 (ランダムモード)
2	模擬試験 第2回 (ランダムモード)
3	模擬試験 第3回 (ランダムモード)
4	模擬試験 第4回 (ランダムモード)
5	模擬試験 第5回 (ランダムモード)
6	総合問題1
7	総合問題2
8	総合問題3
9	総合問題4
10	単位認定試験
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	各授業内容の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に約30分
事後学習	学習した内容をテキストで復習する。
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	「MOS攻略問題集Excel 365&2019エキスパート」日経BP社、ISBN9784296050062
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○								○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10				○				○					
3	ミニテストの得点	20		○	○	○									
4	予習・復習に対する実施状況	0							○	○					○
5	課題の達成状況	0							○						
6	課題の提出状況	0							○						
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5											○		
8	理解度の低い学生への学習支援	5										○			
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・無	追試験を実施する場合は、別途連絡をする。
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・無	再試験を実施する場合は、別途連絡をする。

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	専門学校で情報処理技術者資格、プログラミング(COBOL・Pascal・Java・C) & Web系 (HTML・CSS・JavaScript・CGI・Perl)、ネットワーク (シスコ認定資格CCNA・ナクシー (NACSE) 認定資格、VineLinuxによるサーバー構築)教育に携わる。マイクロソフト認定資格MCP(Microsoft Certifications Program)&MOT(Microsoft Official Trainer) を取得し、オフィス系ソフト(Excel・Word・Access・PowerPoint・VisualBasic・ExcelVBA) に関する授業に携わる。
-----------------	---

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名 (日本語)

授業科目名 (英語)

223BCD10043

Excel2019 I

Microsoftoffice Excel2019 training I

学科名

分野名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

ビジネスキャリア学科/
ビジネスキャリア学科II部/
公務員学科/公務員学科II部

全分野共通

2

前

2

2

実習

東郷 睦

授業の概要

Microsoft Office Specialist(MOS)Excelに必要なアプリケーションの機能と操作方法を学習します。MOS (Excel2019) エキスパートの検定試験合格を目標とした学習内容です。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	各科目の基礎知識について、自分の得意分野と不得意分野に判別できる。	○	○				
目標2	各科目の基礎知識について、得意分野と不得意分野毎に対策を策定できる。	○	○			○	
目標3	各科目の基礎知識について、第三者に説明できる。	○	○	○			
目標4	各章・各単元毎に設定された基本事項を判別し、応用できる。	○	○			○	
目標5	学習内容を社会生活へ一般化させる計画を立案できる。				○		○
目標6	学習内容を社会生活へ一般化させる計画を実行できる。			○	○	○	○
目標7	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。		○			○	○
目標8	検定・資格取得に向けた学習計画を実行できる。					○	○
目標9	理解度の低い学生への学習支援ができる。			○			○
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。					○	○

コマ	授業計画 (授業の具体的な実施内容)
1	第1章 ワークシートやブックの作成と管理1
2	第1章 ワークシートやブックの作成と管理2
3	第2章 セルやセル範囲のデータの管理1
4	第2章 セルやセル範囲のデータの管理2
5	第3章 テーブルの作成1
6	第3章 テーブルの作成2
7	第4章 数式や関数を使用した演算の実行1
8	第4章 数式や関数を使用した演算の実行2
9	第5章 グラフやオブジェクトの作成1
10	第5章 グラフやオブジェクトの作成2
11	模擬試験 第1回 (練習モード)
12	模擬試験 第2回 (練習モード)
13	模擬試験 第3回 (練習モード)
14	模擬試験 第4回 (練習モード)
15	模擬試験 第5回 (練習モード)
16	模擬試験 第1回 (本番モード)
17	模擬試験 第2回 (本番モード)
18	模擬試験 第3回 (本番モード)
19	模擬試験 第4回 (本番モード)
20	模擬試験 第5回 (本番モード) ・単位認定試験

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	各授業内容の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に約30分
事後学習	学習した内容をテキストで復習する。
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	「MOS攻略問題集Word 365&2019エキスパート」日経BP社、ISBN9784296050055
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○								○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10				○				○					
3	ミニテストの得点	20		○	○	○									
4	予習・復習に対する実施状況	0							○	○					○
5	課題の達成状況	0							○						
6	課題の提出状況	0							○						
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5											○		
8	理解度の低い学生への学習支援	5										○			
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	追試験を実施する場合は、別途連絡をする。
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	再試験を実施する場合は、別途連絡をする。

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	専門学校で情報処理技術者資格、プログラミング(COBOL・Pascal・Java・C) & Web系 (HTML・CSS・JavaScript・CGI・Perl)、ネットワーク (シスコ認定資格CCNA・ナクシー (NACSE) 認定資格、VineLinuxによるサーバー構築)教育に携わる。マイクロソフト認定資格MCP(Microsoft Certifications Program)&MOT(Microsoft Official Trainer) を取得し、オフィス系ソフト(Excel・Word・Access・PowerPoint・VisualBasic・ExcelVBA) に関する授業に携わる。
-----------------	---

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名 (日本語)

授業科目名 (英語)

223BCD10044

Excel2019 II

Microsoftoffice Excel2019 training II

学科名

分野名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

ビジネスキャリア学科/
ビジネスキャリア学科II部/
公務員学科/公務員学科II部

全分野共通

2

前

1

2

実習

東郷 睦

授業
の
概
要

Microsoft Office Specialist(MOS)Excelに必要なアプリケーションの機能と操作方法を学習します。MOS (Excel2019) エキスパートの検定試験合格を目標とした学習内容です。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標 1	各科目の基礎知識について、自分の得意分野と不得意分野に判別できる。	○	○				
目標 2	各科目の基礎知識について、得意分野と不得意分野毎に対策を策定できる。	○	○			○	
目標 3	各科目の基礎知識について、第三者に説明できる。	○	○	○			
目標 4	各章・各単元毎に設定された基本事項を判別し、応用できる。	○	○			○	
目標 5	学習内容を社会生活へ一般化させる計画を立案できる。				○		○
目標 6	学習内容を社会生活へ一般化させる計画を実行できる。			○	○	○	○
目標 7	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。		○			○	○
目標 8	検定・資格取得に向けた学習計画を実行できる。					○	○
目標 9	理解度の低い学生への学習支援ができる。			○			○
目標 10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。					○	○

コマ	授業計画 (授業の具体的な実施内容)
1	模擬試験 第1回 (ランダムモード)
2	模擬試験 第2回 (ランダムモード)
3	模擬試験 第3回 (ランダムモード)
4	模擬試験 第4回 (ランダムモード)
5	模擬試験 第5回 (ランダムモード)
6	総合問題1
7	総合問題2
8	総合問題3
9	総合問題4
10	単位認定試験
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	各授業内容の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に約30分
事後学習	学習した内容をテキストで復習する。
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	「MOS攻略問題集Excel 365&2019エキスパート」日経BP社、ISBN9784296050062
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○								○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10				○				○					
3	ミニテストの得点	20		○	○	○									
4	予習・復習に対する実施状況	0							○	○					○
5	課題の達成状況	0							○						
6	課題の提出状況	0							○						
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5											○		
8	理解度の低い学生への学習支援	5										○			
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	追試験を実施する場合は、別途連絡をする。
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	再試験を実施する場合は、別途連絡をする。

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	専門学校で情報処理技術者資格、プログラミング(COBOL・Pascal・Java・C) & Web系 (HTML・CSS・JavaScript・CGI・Perl)、ネットワーク (シスコ認定資格CCNA・ナクシー (NACSE) 認定資格、VineLinuxによるサーバー構築)教育に携わる。マイクロソフト認定資格MCP(Microsoft Certifications Program)&MOT(Microsoft Official Trainer) を取得し、オフィス系ソフト(Excel・Word・Access・PowerPoint・VisualBasic・ExcelVBA) に関する授業に携わる。
-----------------	---

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名 (日本語)

授業科目名 (英語)

223BCD10045

プレゼン(PowerPoint)

presentation training (PowerPoint)

学科名

分野名

学年 学期 単位数

週コマ

方法

科目担当教員

ビジネスキャリア学科/
ビジネスキャリア学科II部/
公務員学科/公務員学科II部

全分野共通

2

後

2

1

演習

岩野 桂子

授業
の
概
要

マイクロソフト社のプレゼンテーションソフトであるPowerPoint2019を使用して、「卒業論文」を作成・発表するためのスキルを習得します。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	各科目の基礎知識について、自分の得意分野と不得意分野に判別できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
目標2	各科目の基礎知識について、得意分野と不得意分野毎に対策を策定できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	
目標3	各科目の基礎知識について、第三者に説明できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
目標4	各章・各単元毎に設定された基本事項を判別し、応用できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	
目標5	学習内容を社会生活へ一般化させる計画を立案できる。				<input type="radio"/>		<input type="radio"/>
目標6	学習内容を社会生活へ一般化させる計画を実行できる。			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
目標7	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。		<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
目標8	検定・資格取得に向けた学習計画を実行できる。					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
目標9	理解度の低い学生への学習支援ができる。			<input type="radio"/>			<input type="radio"/>
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

コマ	授業計画 (授業の具体的な実施内容)
1	PowerPointの使い方、資料作成の方法と計画、作成上の注意点、発表会について
2	プレゼンテーション資料作成指導1
3	プレゼンテーション資料作成指導2
4	プレゼンテーション資料作成指導3
5	プレゼンテーション資料作成指導4
6	プレゼンテーション資料作成指導5
7	プレゼンテーション資料作成指導6
8	プレゼンテーション資料作成指導7
9	プレゼンテーション資料作成指導8
10	プレゼンテーション中間発表会 (兼 単位認定試験)
11	プレゼンテーション資料作成指導9
12	プレゼンテーション資料作成指導10
13	プレゼンテーション資料作成指導11
14	プレゼンテーション資料作成指導12
15	プレゼンテーション資料作成指導13
16	プレゼンテーション資料作成指導14
17	プレゼンテーション資料作成指導15
18	プレゼンテーション資料作成指導16
19	プレゼンテーション資料作成指導17
20	プレゼンテーション最終発表会 (兼 単位認定試験)
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	各授業内容の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に約30分程度
事後学習	学習した内容について、指示された課題があれば行う（宿題）。
充当時間	約30分～1時間程度
使用テキスト	「MOS攻略問題集PowerPoint 365&2019」 模擬テストプログラムDVD付属、定価本体2100円＋税、商品コード P60420
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	単位認定試験の筆記試験の得点	0	○	○	○	○	○								○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	0				○				○					
3	ミニテストの得点	0		○	○	○									
4	予習・復習に対する実施状況	0							○	○					○
5	課題の達成状況	20							○						
6	課題の提出状況	10							○						
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10											○		
8	理解度の低い学生への学習支援	0										○			
9	課題発表会の発表内容	60	○	○	○	○	○								○
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	追試験を実施する場合は、別途連絡をする。
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	再試験を実施する場合は、別途連絡をする。

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	大手電機機器メーカーでコンピュータ開発に従事した経験を持つ。ICTリテラシーやプログラミングに関する深い知識を併せ持つ。現在、ICT支援員として公立学校等でもICTの支援教育を行っている。
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名 (日本語)

授業科目名 (英語)

223BCD30053

ビジネス能力 (B検)

Business skills proficiency test(grade 3,
grade 2)

学科名

分野名

学年 学期 単位数

週コマ

方法

科目担当教員

ビジネスキャリア学科/ビジネス
キャリア学科II部/公務員学科/公
務員学科II部

販売事務

2

通

2

1

講義

森川 茂樹

授
業
の
概
要

新社会人・職業人としての心構え、基礎能力をビジネス能力検定3級、2級問題の解答解説を通じて身につけることを目的とする。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	各科目の基礎知識について、自分の得意分野と不得意分野に判別できる。	○	○				
目標2	各科目の基礎知識について、得意分野と不得意分野毎に対策を策定できる。	○	○			○	
目標3	各科目の基礎知識について、第三者に説明できる。	○	○	○			
目標4	各章・各単元毎に設定された基本事項を判別し、応用できる。	○	○			○	
目標5	学習内容を社会生活へ一般化させる計画を立案できる。				○		○
目標6	学習内容を社会生活へ一般化させる計画を実行できる。			○	○	○	○
目標7	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。		○			○	○
目標8	検定・資格取得に向けた学習計画を実行できる。					○	○
目標9	理解度の低い学生への学習支援ができる。			○			○
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。					○	○

コマ	授業計画 (授業の具体的な実施内容)
1	科目内容の説明、概要
2	ビジネスとコミュニケーションの基本 ・キャリアと仕事へのアプローチ
3	ビジネスとコミュニケーションの基本 ・会社活動の基本
4	ビジネスとコミュニケーションの基本 ・話し方と聞き方
5	ビジネスとコミュニケーションの基本 ・接客と営業の進め方
6	ビジネスとコミュニケーションの基本 ・不満を信頼にかえるクレーム対応
7	ビジネスとコミュニケーションの基本 ・会議への出席とプレゼンテーション
8	ビジネスとコミュニケーションの基本 ・チームワークと人のネットワーク
9	仕事の実践とビジネスツール ・仕事の進め方
10	仕事の実践とビジネスツール ・ビジネス文書の基本
11	仕事の実践とビジネスツール ・統計・データの読み方、まとめ方
12	仕事の実践とビジネスツール ・情報収集とメディアの活用
13	仕事の実践とビジネスツール ・会社数字の読み方
14	仕事の実践とビジネスツール ・ビジネス文書の基本と法律、税金知識
15	仕事の実践とビジネスツール ・産業と経済の基礎知識1
16	仕事の実践とビジネスツール ・産業と経済の基礎知識2
17	社会で活躍するために必要な知識 1
18	社会で活躍するために必要な知識 2
19	単位認定試験
20	単位認定試験のフィードバック、総復習

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	各授業内容の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に約30分
事後学習	課題に取り組む。学習した内容をテキストで復習する。
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	「ビジネス能力検定ジョブパス2級 公式テキスト」（日本能率協会マネジメントセンター）、「公式試験問題集」
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	単位認定試験の筆記試験の得点	60	○	○	○	○	○								○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	0				○				○					
3	ミニテストの得点	20		○	○	○									
4	予習・復習に対する実施状況	0							○	○					○
5	課題の達成状況	10							○						
6	課題の提出状況	10							○						
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	0												○	
8	理解度の低い学生への学習支援	0										○			
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	追試験を実施する場合は、別途連絡をする。
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	再試験を実施する場合は、別途連絡をする。

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名 (日本語)

授業科目名 (英語)

223BCD20001

校外研修Ⅰ

Off-campus researchⅠ

学科名

分野名

学年 学期 単位数

週コマ 方法

科目担当教員

ビジネスキャリア学科/
ビジネスキャリア学科Ⅱ部/
公務員学科/公務員学科Ⅱ部

全分野共通

1

通

1

1~4

実習

各学科担当者

授業の概要

校外での学習機会を用意し、設定された授業科目に関連する知識を修得する。社会状況を勘案しながら、公共機関や民間施設などを利用し、各種セミナー、講演会、イベント、見学会、研修などを参加・受講する。

具体的な到達目標とDP等への対応

具体的な到達目標とDP等への対応		1	2	3	4	5	6
目標1	各科目の目的を判別し、主体的に参加できる。	○	○	○			
目標2	各科目の学習目標を自分で設定し、実行できる。	○	○				
目標3	各科目の学習目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。	○	○				
目標4	各科目の学習目標の具体的実行案を実行できる。	○	○				
目標5	各科目の学習目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列挙できる。			○	○		
目標6	更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。						○
目標7	集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。		○	○	○		
目標8	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。						○
目標9	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化できる。						○
目標10	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。					○	○

コマ

授業計画 (授業の具体的な実施内容)

1	事前学習 (見学先、研修目的、レポートの作成方法等の説明)
2	研修 (各研修先へ直行)
3	研修 (各研修先へ直行)
4	研修 (各研修先へ直行)
5	研修 (各研修先へ直行)、事後学習 (レポート作成、提出)、事前学習 (見学先、研修目的、レポートの作成方法等の説明)
6	研修 (各研修先へ直行)
7	研修 (各研修先へ直行)
8	研修 (各研修先へ直行)
9	研修 (各研修先へ直行)
10	事後学習 (レポート作成、提出)、単位認定試験
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	見学先、研修目的、レポートの作成方法等の説明
充当時間	30分程度
事後学習	レポート作成、提出
充当時間	30分程度
使用テキスト	なし
参考資料	研修先によって資料を事前準備
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	科目に対する取組み姿勢の得点	10	○	○	○	○						○
2	科目に対する第三者評価の得点	30	○	○	○	○			○		○	
3	課題に対する目標設定状況	10			○			○		○		
4	課題に対する目標達成状況	10				○	○			○		○
5	課題の達成状況	10		○	○	○	○			○		○
6	課題の提出状況	10					○	○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10	○						○			
8	他の学生への教育的支援	10							○			
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	実施しません
再試験	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	実施しません

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名 (日本語)

授業科目名 (英語)

223BCD20002

校外研修Ⅱ

Off-campus researchⅡ

学科名

分野名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

ビジネスキャリア学科/
ビジネスキャリア学科Ⅱ部/
公務員学科/公務員学科Ⅱ部

全分野共通

2

通

1

1~4

実習

各学科担当者

授業
の
概
要

校外での学習機会を用意し、設定された授業科目に関連する知識を修得する。社会状況を勘案しながら、公共機関や民間施設などを利用し、各種セミナー、講演会、イベント、見学会、研修などを参加・受講する。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標 1	各科目の目的を判別し、主体的に参加できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
目標 2	各科目の学習目標を自分で設定し、実行できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
目標 3	各科目の学習目標の具体的実行案を自分で企画・立案できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
目標 4	各科目の学習目標の具体的実行案を実行できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
目標 5	各科目の学習目標の具体的実行案を振り返り、反省点・改善点を列挙できる。			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
目標 6	更なる能力向上のため、各科目の学習目標を再設定し、実行できる。						<input type="radio"/>
目標 7	集団の中でリーダーシップを発揮して、説明や指示等ができる。		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
目標 8	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化する計画が立案できる。						<input type="radio"/>
目標 9	学習内容を今後のキャリア形成へと一般化できる。						<input type="radio"/>
目標 10	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

コマ	授業計画 (授業の具体的な実施内容)
1	事前学習 (見学先、研修目的、レポートの作成方法等の説明)
2	研修 (各研修先へ直行)
3	研修 (各研修先へ直行)
4	研修 (各研修先へ直行)
5	研修 (各研修先へ直行)、事後学習 (レポート作成、提出)、事前学習 (見学先、研修目的、レポートの作成方法等の説明)
6	研修 (各研修先へ直行)
7	研修 (各研修先へ直行)
8	研修 (各研修先へ直行)
9	研修 (各研修先へ直行)
10	事後学習 (レポート作成、提出)、単位認定試験
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	
21	
22	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	見学先、研修目的、レポートの作成方法等の説明
充当時間	30分程度
事後学習	レポート作成、提出
充当時間	30分程度
使用テキスト	なし
参考資料	研修先によって資料を事前準備
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	科目に対する取組み姿勢の得点	10	○	○	○	○									○
2	科目に対する第三者評価の得点	30	○	○	○	○				○			○		
3	課題に対する目標設定状況	10			○				○			○			
4	課題に対する目標達成状況	10				○	○					○		○	
5	課題の達成状況	10		○	○	○	○					○		○	
6	課題の提出状況	10					○	○							
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10	○								○				
8	他の学生への教育的支援	10									○				
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名 (日本語)

授業科目名 (英語)

223BCD20071

手話講座

sign language skill

学科名

分野名

学年 学期 単位数

週コマ

方法

科目担当教員

公務員学科/ビジネスキャリア
学科

公務員

2

後

2

1

実習

高須 一美

授
業
の
概
要

聴覚障害者の実際の生活と文化について講義を受けるとともに、日常生活における挨拶や基本的なコミュニケーションができるように、日常の場面に即して手話の技能を学習する。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標 1	各科目の基礎知識について、自分の得意分野と不得意分野に判別できる。	○	○				
目標 2	各科目の基礎知識について、得意分野と不得意分野毎に対策を策定できる。	○	○			○	
目標 3	各科目の基礎知識について、第三者に説明できる。	○	○	○			
目標 4	各章・各単元毎に設定された基本事項を判別し、応用できる。	○	○			○	
目標 5	学習内容を社会生活へ一般化させる計画を立案できる。				○		○
目標 6	学習内容を社会生活へ一般化させる計画を実行できる。			○	○	○	○
目標 7	検定・資格取得に向けた学習計画を立案できる。		○			○	○
目標 8	検定・資格取得に向けた学習計画を実行できる。					○	○
目標 9	理解度の低い学生への学習支援ができる。			○			○
目標 10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。					○	○

コマ

授業計画 (授業の具体的な実施内容)

1	【手話】手話とは？
2	【手話】挨拶①
3	【手話】挨拶②
4	【手話】自己紹介①
5	【手話】自己紹介②
6	【手話】家族①
7	【手話】家族②
8	【手話】趣味①
9	【手話】趣味②
10	【手話】料理・買物①
11	【手話】料理・買物②
12	【手話】病院①
13	【手話】病院②
14	【手話】交通①
15	【手話】交通②
16	【手話】学校①
17	【手話】学校②
18	【手話】仕事①
19	【手話】仕事②
20	単位認定試験

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	各授業内容の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に約30分程度
事後学習	学習した内容について、指示された課題があれば行う（宿題）。
充当時間	約30分～1時間程度
使用テキスト	
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

成績評価の対象項目		%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の筆記試験の得点	0	○	○	○	○	○					○
2	対象科目の検定対策等答練の得点	0				○			○			
3	ミニテストの得点	0		○	○	○						
4	予習・復習に対する実施状況	0						○	○			○
5	課題の達成状況	20						○				
6	課題の提出状況	10						○				
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10									○	
8	理解度の低い学生への学習支援	0								○		
9	課題発表会の発表内容	60	○	○	○	○	○					○
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	追試験を実施する場合は、別途連絡をする。
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	再試験を実施する場合は、別途連絡をする。

科目担当教員の実務経験等

<p>科目担当教員の実務経験等</p>	<p>科目の特性上、実習形式を基本とするが、適宜印刷物や板書も行い、手話技能の定着を図る。担当教員は、日本最大の証券会社に勤務後、特許庁に勤務するなど、官民両方の仕事の経験を持ち、現在は手話通訳士として、国政選挙や都知事選の政見放送、民間放送などで手話通訳を務めている。</p>
---------------------	---

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名 (日本語)

授業科目名 (英語)

223BCD30001

数的推理 I

math reasoning I

学科名

分野名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

公務員学科

公務員

1

前

3

6

講義

柴田 基博(実務経験教員)

授業の概要

数的推理の問題について初歩レベルの講義と演習を行います。具体的には、方程式・不等式（過不足算、年齢算など）、整数問題（倍数と約数、整数の性質、 n 進法など）、割合と比（売買算、濃度など）、速さ（旅人算、通過算、流水算など）、仕事算、場合の数・確率です。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	公務員としての使命を修得し、リーダーシップを発揮できる。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することができる。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活へ一般化することができる。		○				○
目標6	学習内容を基にマネジメント能力を修得し、発揮できる。		○		○		
目標7	各種検定試験に向けた学習対策が身につけている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことができる。						○

コマ	授業計画 (授業の具体的な実施内容)
1	(VOD型) 数と文字式の計算 (通分、帯分数、分数の割り算、文字式の四則演算と分配法則、1次方程式の解法)
2	(VOD型) 方程式、不定方程式
3	(VOD型) 不等式、過不足算
4	(対面型) 1~3復習
5	(VOD型) 数列、 n 進法
6	(VOD型) 整数の性質 (2桁の数を文字で表す) とカレンダー (1年で1日ずれることの確認)
7	(対面型) 5・6復習、第1回まとめ試験
8	(VOD型) 割合 (数直線での考え方、%を少数に直す、求める数と元になる数の区別)
9	(VOD型) 比 (文章題の理解)
10	(対面型) 8・9復習
11	(VOD型) 売買算 (割増しと割引の考え方、原価と定価、定価と売価の違い)
12	(VOD型) 濃度 (食塩の量で考えることの理解)
13	(対面型) 11・12復習
14	(VOD型) 食塩水問題の応用
15	(VOD型) 速さ (速さ×時間=距離の考え方、秒速と時速の意味)
16	(対面型) 14・15復習
17	(VOD型) 旅人算
18	(VOD型) 旅人算 (追いつく時は速さの差、出会う時は速さの和の理解) と通過算
19	(VOD型) 流水算 (上る速さと下る速さの考え方)、時計算 (長針と短針との速度の差の理解)
20	(VOD型) 仕事算 (個々の能力の和×時間=1の理解) と給排水算

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	学習範囲の予習（テキスト、副教材の読み込み、語句等の意味調べ）など
充当時間	約1時間程度
事後学習	学習した内容の復習（テキスト、副教材、プリント類）、宿題など
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	大原オリジナルテキスト
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の得点	60	○	○	○							
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10		○	○					○		○
3	ミニテストの得点	20	○	○	○					○	○	
4	予習・復習に対する実施状況				○						○	
5	課題の達成状況										○	
6	課題の提出状況										○	
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5							○			
8	理解度の低い学生への学習支援	5				○	○	○				
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	追試験を実施する場合は、別途連絡をする。
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	再試験を実施する場合は、別途連絡をする。

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	科目の特性上、講義形式を基本とするが、公務員・警察官・消防官全般の筆記科目試験対策における理系科目全般を教える。科目の特性と学生の学習到達度を分析し、得点力アップの授業を展開する。担当教員は、大手製鉄会社勤務にてシステム管理の仕事に携わった後、独立系ITコンサルティング業務に転じ、民間だけでなく官公庁でのCO2削減プロジェクト管理の仕事も受け持つなど、公務員の心構えも含めての授業を展開する。
-----------------	---

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名 (日本語)

授業科目名 (英語)

223BCD30001

数的推理 I

math reasoning I

学科名

分野名

学年 学期 単位数

週コマ 方法

科目担当教員

公務員学科

公務員

1

前

3

6

講義

柴田 基博(実務経験教員)

授業の概要

数的推理の問題について初歩レベルの講義と演習を行います。具体的には、方程式・不等式（過不足算、年齢算など）、整数問題（倍数と約数、整数の性質、 n 進法など）、割合と比（売買算、濃度など）、速さ（旅人算、通過算、流水算など）、仕事算、場合の数・確率です。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標 1	公務員としての使命を修得し、リーダーシップを発揮できる。	○	○	○			
目標 2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標 3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標 4	学習内容を社会生活へ一般化することができる。		○				○
目標 5	学習内容を自分自身の生活に一般化することができる。		○				○
目標 6	学習内容を基にマネジメント能力を修得し、発揮できる。		○		○		
目標 7	各種検定試験に向けた学習対策が身につけている。					○	○
目標 8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標 9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標 10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことができる。						○

コマ	授業計画 (授業の具体的な実施内容)
21	(VOD型) 仕事算、給排水算、ニュートン算
22	(対面型) 17~21総復習
23	(対面型) 第2回まとめ試験
24	(VOD型) 年齢算
25	(VOD型) 平均算
26	(VOD型) 場合の数 (樹形図の書き方の確認、数え上げの問題の確認) と順列
27	(VOD型) 順列、組み合わせ、事象と確率 (赤玉・白玉とくじ引き; 戻す場合と戻さない場合についての理解)
28	(VOD型) 確率 (赤玉・白玉とくじ引き、サイコロとコイン)
29	(対面型) 24~28総復習
30	(対面型) 単位認定試験
31	
32	
33	
34	
35	
36	
37	
38	
39	
40	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	学習範囲の予習（テキスト、副教材の読み込み、語句等の意味調べ）など
充当時間	約1時間程度
事後学習	学習した内容の復習（テキスト、副教材、プリント類）、宿題など
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	大原オリジナルテキスト
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の得点		○	○	○							
2	対象科目の検定対策等答練の得点			○	○					○		○
3	ミニテストの得点		○	○	○					○	○	
4	予習・復習に対する実施状況				○						○	
5	課題の達成状況										○	
6	課題の提出状況										○	
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）								○			
8	理解度の低い学生への学習支援					○	○	○				
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	追試験を実施する場合は、別途連絡をする。
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	再試験を実施する場合は、別途連絡をする。

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	科目の特性上、講義形式を基本とするが、公務員・警察官・消防官全般の筆記科目試験対策における理系科目全般を教える。科目の特性と学生の学習到達度を分析し、得点力アップの授業を展開する。担当教員は、大手製鉄会社勤務にてシステム管理の仕事に携わった後、独立系ITコンサルティング業務に転じ、民間だけでなく官公庁でのCO2削減プロジェクト管理の仕事も受け持つなど、公務員の心構えも含めての授業を展開する。
-----------------	---

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名 (日本語)

授業科目名 (英語)

223BCD30002

数的推理 II

math reasoning II

学科名

分野名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

公務員学科

公務員

1

通

3

6

講義

柴田 基博(実務経験教員)

授業の概要

数的推理の問題について初歩レベルの講義と演習を行います。具体的には、方程式・不等式（過不足算、年齢算など）、整数問題（倍数と約数、整数の性質、 n 進法など）、割合と比（売買算、濃度など）、速さ（旅人算、通過算、流水算など）、仕事算、場合の数・確率です。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標 1	公務員としての使命を修得し、リーダーシップを発揮できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
目標 2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
目標 3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				<input type="radio"/>
目標 4	学習内容を社会生活へ一般化することができる。		<input type="radio"/>				<input type="radio"/>
目標 5	学習内容を自分自身の生活に一般化することができる。		<input type="radio"/>				<input type="radio"/>
目標 6	学習内容を基にマネジメント能力を修得し、発揮できる。		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		
目標 7	各種検定試験に向けた学習対策が身についている。					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
目標 8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
目標 9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				<input type="radio"/>		
目標 10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことができる。						<input type="radio"/>

コマ	授業計画 (授業の具体的な実施内容)
1	(VOD型) 数と文字式の計算 (通分、帯分数、分数の割り算、文字式の四則演算と分配法則、1次方程式の解法)
2	(VOD型) 方程式、不定方程式
3	(VOD型) 不等式、過不足算
4	(対面型) 1～3復習
5	(VOD型) 数列、 n 進法
6	(VOD型) 整数の性質 (2桁の数を文字で表す) とカレンダー (1年で1日ずれることの確認)
7	(対面型) 5・6復習、第1回まとめ試験
8	(VOD型) 割合 (数直線での考え方、%を少数に直す、求める数と元になる数の区別)
9	(VOD型) 比 (文章題の理解)
10	(対面型) 8・9復習
11	(VOD型) 売買算 (割増しと割引の考え方、原価と定価、定価と売価の違い)
12	(VOD型) 濃度 (食塩の量で考えることの理解)
13	(対面型) 11・12復習
14	(VOD型) 食塩水問題の応用
15	(VOD型) 速さ (速さ×時間=距離の考え方、秒速と時速の意味)
16	(対面型) 14・15復習
17	(VOD型) 旅人算
18	(VOD型) 旅人算 (追いつく時は速さの差、出会う時は速さの和の理解) と通過算
19	(VOD型) 流水算 (上る速さと下る速さの考え方)、時計算 (長針と短針との速度の差の理解)
20	(VOD型) 仕事算 (個々の能力の和×時間=1の理解) と給排水算

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	学習範囲の予習（テキスト、副教材の読み込み、語句等の意味調べ）など
充当時間	約1時間程度
事後学習	学習した内容の復習（テキスト、副教材、プリント類）、宿題など
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	大原オリジナルテキスト
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の得点	60	○	○	○							
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10		○	○					○		○
3	ミニテストの得点	20	○	○	○					○	○	
4	予習・復習に対する実施状況				○						○	
5	課題の達成状況										○	
6	課題の提出状況										○	
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5							○			
8	理解度の低い学生への学習支援	5				○	○	○				
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	追試験を実施する場合は、別途連絡をする。
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	再試験を実施する場合は、別途連絡をする。

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	科目の特性上、講義形式を基本とするが、公務員・警察官・消防官全般の筆記科目試験対策における理系科目全般を教える。科目の特性と学生の学習到達度を分析し、得点力アップの授業を展開する。担当教員は、大手製鉄会社勤務にてシステム管理の仕事に携わった後、独立系ITコンサルティング業務に転じ、民間だけでなく官公庁でのCO2削減プロジェクト管理の仕事も受け持つなど、公務員の心構えも含めての授業を展開する。
-----------------	---

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名 (日本語)

授業科目名 (英語)

223BCD30002

数的推理 II

math reasoning II

学科名

分野名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

公務員学科

公務員

1

通

3

6

講義

柴田 基博(実務経験教員)

授業の概要

数的推理の問題について初歩レベルの講義と演習を行います。具体的には、方程式・不等式（過不足算、年齢算など）、整数問題（倍数と約数、整数の性質、 n 進法など）、割合と比（売買算、濃度など）、速さ（旅人算、通過算、流水算など）、仕事算、場合の数・確率です。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標 1	公務員としての使命を修得し、リーダーシップを発揮できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
目標 2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
目標 3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				<input type="radio"/>
目標 4	学習内容を社会生活へ一般化することができる。		<input type="radio"/>				<input type="radio"/>
目標 5	学習内容を自分自身の生活に一般化することができる。		<input type="radio"/>				<input type="radio"/>
目標 6	学習内容を基にマネジメント能力を修得し、発揮できる。		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		
目標 7	各種検定試験に向けた学習対策が身についている。					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
目標 8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
目標 9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				<input type="radio"/>		
目標 10	予習・復習の習慣が身につき、問題意識を持つことができる。						<input type="radio"/>

コマ

授業計画 (授業の具体的な実施内容)

21	(VOD型) 仕事算、給排水算、ニュートン算
22	(対面型) 17~21総復習
23	(対面型) 第2回まとめ試験
24	(VOD型) 年齢算
25	(VOD型) 平均算
26	(VOD型) 場合の数 (樹形図の書き方の確認、数え上げの問題の確認) と順列
27	(VOD型) 順列、組み合わせ、事象と確率 (赤玉・白玉とくじ引き; 戻す場合と戻さない場合についての理解)
28	(VOD型) 確率 (赤玉・白玉とくじ引き、サイコロとコイン)
29	(対面型) 24~28総復習
30	(対面型) 単位認定試験
31	
32	
33	
34	
35	
36	
37	
38	
39	
40	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	学習範囲の予習（テキスト、副教材の読み込み、語句等の意味調べ）など
充当時間	約1時間程度
事後学習	学習した内容の復習（テキスト、副教材、プリント類）、宿題など
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	大原オリジナルテキスト
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の得点		○	○	○							
2	対象科目の検定対策等答練の得点			○	○					○		○
3	ミニテストの得点		○	○	○					○	○	
4	予習・復習に対する実施状況				○						○	
5	課題の達成状況										○	
6	課題の提出状況										○	
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）								○			
8	理解度の低い学生への学習支援					○	○	○				
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	追試験を実施する場合は、別途連絡をする。
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	再試験を実施する場合は、別途連絡をする。

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	科目の特性上、講義形式を基本とするが、公務員・警察官・消防官全般の筆記科目試験対策における理系科目全般を教える。科目の特性と学生の学習到達度を分析し、得点力アップの授業を展開する。担当教員は、大手製鉄会社勤務にてシステム管理の仕事に携わった後、独立系ITコンサルティング業務に転じ、民間だけでなく官公庁でのCO2削減プロジェクト管理の仕事も受け持つなど、公務員の心構えも含めての授業を展開する。
-----------------	---

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名 (日本語)

授業科目名 (英語)

223BCD30003

判断推理 I

Judgment reasoning I

学科名

分野名

学年 学期 単位数

週コマ 方法

科目担当教員

公務員学科

公務員

1

前

2

6

講義

八木 誠

授業の概要

判断推理の分野について、講義と演習を行います。具体的には、論理、集合の要素の個数、順序、対応関係、位置と方位、勝ち負け、うそつき問題、推理・手順、暗号などの分野を扱い、導入・基礎レベルから標準レベルの問題が解けるようにすることを目標とします。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	公務員としての使命を修得し、リーダーシップを発揮できる。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することができる。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活に一般化することができる。		○				○
目標6	学習内容を基にマネジメント能力を修得し、発揮できる。		○		○		
目標7	各種検定試験に向けた学習対策が身につけている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことができる。						○

コマ

授業計画 (授業の具体的な実施内容)

1	(対面型) 論理 (命題と待遇を理解させ、三段論法が出来るようにする)
2	(対面型) ド・モルガンの法則、論理と集合
3	(対面型) 集合の要素と個数 (2つのベン図の理解、3つのベン図とキャロル図の理解)
4	(対面型) 交わりの最小値、順序 (確定条件についての学習、順序の変動・折り返しの順序の学習)
5	(対面型) 順序の変動
6	(対面型) 順序の数値条件
7	(対面型) 順序 (時計のずれの学習)
8	(対面型) 位置 (条件をパズル化して解く。平面型と2列型の学習、位置と職業、議長席問題の学習)
9	(対面型) まとめ試験
10	(対面型) 位置と方位 (円卓、道をへだてて)
11	(対面型) 方位 (八方位の理解。距離の関係がある方位と関係のない方位の学習)
12	(対面型) 対応 (2集合対応と3集合対応の学習)
13	(対面型) スケジュール表、対応の数値条件
14	(対面型) 勝ち負け (星取表の作り方。引き分けがある場合と無い場合のリーグ戦の学習、トーナメント戦)
15	(対面型) ウソの発言 (該当者1人の場合、半分ウソ半分本当、グループ分けなど)
16	(対面型) 暗号
17	(対面型) 推理と手順 (予想的中、赤い帽子と白い帽子など基本的なパターンを理解させる。)
18	(対面型) 推理と手順 (移動回数、油わけ算、てんびんなど基本的なパターンを理解させる。)
19	(対面型) 推理と手順
20	(対面型) 単位認定試験

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	学習範囲の予習（テキスト、副教材の読み込み、語句等の意味調べ）など
充当時間	約1時間程度
事後学習	学習した内容の復習（テキスト、副教材、プリント類）、宿題など
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	大原オリジナルテキスト
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標											
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10		
1	単位認定試験の得点	60	○	○	○									
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10		○	○						○		○	
3	ミニテストの得点	20	○	○	○						○	○		
4	予習・復習に対する実施状況				○							○		
5	課題の達成状況											○		
6	課題の提出状況											○		
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5								○				
8	理解度の低い学生への学習支援	5				○	○	○						
9														
10														

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	追試験を実施する場合は、別途連絡をする。
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	再試験を実施する場合は、別途連絡をする。

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名 (日本語)

授業科目名 (英語)

223BCD30004

判断推理Ⅱ

Judgment reasoning I

学科名

分野名

学年 学期 単位数

週コマ

方法

科目担当教員

公務員学科

公務員

1

後

2

6

講義

八木 誠

授業の概要

判断推理の分野について、講義と演習を行います。具体的には、論理、集合の要素の個数、順序、対応関係、位置と方位、勝ち負け、うそつき問題、推理・手順、暗号などの分野を扱い、導入・基礎レベルから標準レベルの問題が解けるようにすることを目標とします。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	公務員としての使命を修得し、リーダーシップを発揮できる。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することができる。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活に一般化することができる。		○				○
目標6	学習内容を基にマネジメント能力を修得し、発揮できる。		○		○		
目標7	各種検定試験に向けた学習対策が身につけている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことができる。						○

コマ	授業計画 (授業の具体的な実施内容)
1	(VOD型) 論理 (命題と待遇を理解させ、三段論法が出来るようにする)、ド・モルガンの法則、論理と集合
2	(VOD型) 集合の要素と個数 (2つのベン図の理解、3つのベン図とキャロル図の理解)、交わりの最小値
3	(対面型) 1・2の復習
4	(VOD型) 順序 (確定条件についての学習、順序の変動・折り返しの順序の学習)
5	(VOD型) 順序の変動、順序の数値条件、順序 (時計のずれの学習)
6	(対面型) 4・5の復習
7	(VOD型) 位置 (条件をパズル化して解く。平面型と2列型の学習、位置と職業、議長席問題の学習)
8	(VOD型) 位置と方位 (円卓、道をへだてて)、方位 (八方位の理解。距離の関係がある方位と関係のない方位)
9	(対面型) 7・8の復習
10	(対面型) 第1回まとめ試験
11	(VOD型) 対応 (2集合対応と3集合対応の学習)
12	(VOD型) スケジュール表、対応の数値条件
13	(対面型) 11・12の復習
14	(VOD型) 勝ち負け (星取表の作り方。引き分けがある場合と無い場合のリーグ戦の学習、トーナメント戦)
15	(VOD型) ウソの発言 (該当者1人の場合、半分ウソ半分本当、グループ分けなど)、暗号
16	(対面型) 14・15の復習
17	(VOD型) 推理と手順 (予想的中、赤い帽子と白い帽子など基本的なパターンを理解させる。)
18	(VOD型) 推理と手順 (移動回数、油わけ算、てんびんなど基本的なパターンを理解させる。)
19	(対面型) 17・18の復習
20	(対面型) 単位認定試験

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	学習範囲の予習（テキスト、副教材の読み込み、語句等の意味調べ）など
充当時間	約1時間程度
事後学習	学習した内容の復習（テキスト、副教材、プリント類）、宿題など
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	大原オリジナルテキスト
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の得点	60	○	○	○							
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10		○	○					○		○
3	ミニテストの得点	20	○	○	○					○	○	
4	予習・復習に対する実施状況				○						○	
5	課題の達成状況										○	
6	課題の提出状況										○	
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5							○			
8	理解度の低い学生への学習支援	5				○	○	○				
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	追試験を実施する場合は、別途連絡をする。
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	再試験を実施する場合は、別途連絡をする。

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名 (日本語)

授業科目名 (英語)

223BCD30005

図形資料解釈 I

Answering the essential questions presented by figures and materials I

学科名

分野名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

公務員学科

公務員

1

前

2

6

講義

柴田 基博(実務経験教員)

授業の概要

公務員試験の図形・資料解釈の分野について、講義と問題演習を行います。具体的には折り紙、回転の軌跡、正多面体・展開図、平面図形の構成、サイコロ、見取図と投影図、立体の切断・回転体、一筆書き、平面図形の計量、立体図形の計量を扱います。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	公務員としての使命を修得し、リーダーシップを発揮できる。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することができる。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活に一般化することができる。		○				○
目標6	学習内容を基にマネジメント能力を修得し、発揮できる。		○		○		
目標7	各種検定試験に向けた学習対策が身についている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことができる。						○

コマ

授業計画 (授業の具体的な実施内容)

1	(対面型) 直線図形の回転と軌跡
2	(対面型) 円弧を含む図形の回転と軌跡
3	(対面型) 道順と一筆書き
4	(対面型) 折り紙
5	(対面型) 平面図形の分割
6	(対面型) 正多面体と展開図
7	(対面型) 展開図
8	(対面型) サイコロ
9	(対面型) 第1回まとめ試験
10	(対面型) 積木の問題と投影図
11	(対面型) 立体の切断
12	(対面型) 回転体と角度
13	(対面型) 三平方の定理
14	(対面型) 相似比
15	(対面型) 面積比
16	(対面型) 第2回まとめ試験
17	(対面型) 円
18	(対面型) 移動図形
19	(対面型) 立体図形、ひもを渡した最短距離
20	(対面型) 単位認定試験

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	学習範囲の予習（テキスト、副教材の読み込み、語句等の意味調べ）など
充当時間	約1時間程度
事後学習	学習した内容の復習（テキスト、副教材、プリント類）、宿題など
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	大原オリジナルテキスト
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標											
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10		
1	単位認定試験の得点	60	○	○	○									
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10		○	○						○		○	
3	ミニテストの得点	20	○	○	○						○	○		
4	予習・復習に対する実施状況				○							○		
5	課題の達成状況											○		
6	課題の提出状況											○		
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5								○				
8	理解度の低い学生への学習支援	5				○	○	○						
9														
10														

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	追試験を実施する場合は、別途連絡をする。
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	再試験を実施する場合は、別途連絡をする。

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	科目の特性上、講義形式を基本とするが、公務員・警察官・消防官全般の筆記科目試験対策における理系科目全般を教える。科目の特性と学生の学習到達度を分析し、得点力アップの授業を展開する。担当教員は、大手製鉄会社勤務にてシステム管理の仕事に携わった後、独立系ITコンサルティング業務に転じ、民間だけでなく官公庁でのCO2削減プロジェクト管理の仕事も受け持つなど、公務員の心構えも含めての授業を展開する。
-----------------	---

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名 (日本語)

授業科目名 (英語)

223BCD30006

図形資料解釈Ⅱ

Answering the essential questions presented by figures and materials II

学科名

分野名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

公務員学科

公務員

1

後

2

6

講義

柴田 基博(実務経験教員)

授業の概要

公務員試験の図形・資料解釈の分野について、講義と問題演習を行います。具体的には折り紙、回転の軌跡、正多面体・展開図、平面図形の構成、サイコロ、見取図と投影図、立体の切断・回転体、一筆書き、平面図形の計量、立体図形の計量を扱います。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	公務員としての使命を修得し、リーダーシップを発揮できる。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することができる。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活へ一般化することができる。		○				○
目標6	学習内容を基にマネジメント能力を修得し、発揮できる。		○		○		
目標7	各種検定試験に向けた学習対策が身につけている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことができる。						○

コマ	授業計画 (授業の具体的な実施内容)
1	(VOD型) 直線図形の回転と軌跡、円弧を含む図形の回転と軌跡
2	(VOD型) 道順と一筆書き
3	(VOD型) 折り紙、平面図形の分割
4	(対面型) 1～3復習
5	(VOD型) 正多面体と展開図
6	(VOD型) 展開図
7	(VOD型) サイコロ
8	(対面型) 5～7復習
9	(VOD型) 積木の問題と投影図
10	(VOD型) 立体の切断
11	(対面型) 9・10復習
12	(VOD型) 回転体と角度
13	(VOD型) 三平方の定理
14	(対面型) 12・13復習
15	(VOD型) 相似比
16	(VOD型) 面積比
17	(対面型) 15・16復習
18	(VOD型) 円、移動図形
19	(VOD型) 立体図形、ひもを渡した最短距離
20	(対面型) 18・19復習、【単位認定試験】

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	学習範囲の予習（テキスト、副教材の読み込み、語句等の意味調べ）など
充当時間	約1時間程度
事後学習	学習した内容の復習（テキスト、副教材、プリント類）、宿題など
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	大原オリジナルテキスト
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	評価項目											
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10		
1	単位認定試験の得点	60	○	○	○									
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10		○	○						○		○	
3	ミニテストの得点	20	○	○	○						○	○		
4	予習・復習に対する実施状況				○								○	
5	課題の達成状況												○	
6	課題の提出状況												○	
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5								○				
8	理解度の低い学生への学習支援	5				○	○	○						
9														
10														

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	追試験を実施する場合は、別途連絡をする。
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	再試験を実施する場合は、別途連絡をする。

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	科目の特性上、講義形式を基本とするが、公務員・警察官・消防官全般の筆記科目試験対策における理系科目全般を教える。科目の特性と学生の学習到達度を分析し、得点力アップの授業を展開する。担当教員は、大手製鉄会社勤務にてシステム管理の仕事に携わった後、独立系ITコンサルティング業務に転じ、民間だけでなく官公庁でのCO2削減プロジェクト管理の仕事も受け持つなど、公務員の心構えも含めての授業を展開する。
-----------------	---

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名 (日本語)

授業科目名 (英語)

223BCD30007

数的処理 I

Numerical processing I

学科名

分野名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

公務員学科

公務員

1

後

2

2

講義

柴田 基博(実務経験教員)

授業の概要

これまでに学んだ数的推理・判断推理・図形の各分野について復習をするとともに、過去問等の問題演習を通じて、応用力を養成します。これまで習った解法のポイントを再確認し、実際に問題を解くときに適切に使えるようにすることを目標とします。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	公務員としての使命を修得し、リーダーシップを発揮できる。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することができる。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活に一般化することができる。		○				○
目標6	学習内容を基にマネジメント能力を修得し、発揮できる。		○		○		
目標7	各種検定試験に向けた学習対策が身につけている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことができる。						○

コマ

授業計画 (授業の具体的な実施内容)

1	(対面型) 数と文字式の計算、方程式、不定方程式、過不足算、不等式
2	(対面型) 約数と倍数、最大公約数、最小公倍数、平均算、年齢算
3	(対面型) 整数・計算パズル、n進法、比、比例式、連比、比例配分
4	(対面型) 売買算、濃度、速さ・時間・距離
5	(対面型) 旅人算、通過算、流水算、時計算
6	(対面型) 仕事算、給排水算、ニュートン算
7	(対面型) 場合の数、順列・円順列、数珠順列
8	(対面型) 組合せと道順、事象と確率 (余事象的な考え方、独立事象的な考え方の理解、期待値)
9	(対面型) 第1回まとめ試験
10	(対面型) 論理、論理と集合、ベン図、キャロル図、交わりの最小値、
11	(対面型) 順序 (順序の変動、順序の数値関係、時計のずれ)
12	(対面型) 位置と方位
13	(対面型) 対応関係、勝ち負け
14	(対面型) ウソの発言、暗号、推理と手順
15	(対面型) 第2回まとめ試験
16	(対面型) 軌跡 (直線図形の回転と軌跡、円弧を含む図形の回転と軌跡)
17	(対面型) 折り紙、展開図、サイコロ
18	(対面型) 投影図、立体の切断、相似比、面積比
19	(対面型) 角度、円、移動図形、立体図形
20	(対面型) 単位認定試験

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	学習範囲の予習（テキスト、副教材の読み込み、語句等の意味調べ）など
充当時間	約1時間程度
事後学習	学習した内容の復習（テキスト、副教材、プリント類）、宿題など
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	大原オリジナルテキスト
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の得点	60	○	○	○							
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10		○	○					○		○
3	ミニテストの得点	20	○	○	○					○	○	
4	予習・復習に対する実施状況				○						○	
5	課題の達成状況										○	
6	課題の提出状況										○	
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5							○			
8	理解度の低い学生への学習支援	5				○	○	○				
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	追試験を実施する場合は、別途連絡をする。
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	再試験を実施する場合は、別途連絡をする。

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	科目の特性上、講義形式を基本とするが、公務員・警察官・消防官全般の筆記科目試験対策における理系科目全般を教える。科目の特性と学生の学習到達度を分析し、得点力アップの授業を展開する。担当教員は、大手製鉄会社勤務にてシステム管理の仕事に携わった後、独立系ITコンサルティング業務に転じ、民間だけでなく官公庁でのCO2削減プロジェクト管理の仕事も受け持つなど、公務員の心構えも含めての授業を展開する。
-----------------	---

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名 (日本語)

授業科目名 (英語)

223BCD30008

数的処理Ⅱ

Numerical processing II

学科名

分野名

学年 学期 単位数

週コマ

方法

科目担当教員

公務員学科

公務員

2

前

2

2

講義

柴田 基博(実務経験教員)

授業の概要

問題演習と解説の反復により本試験に対応できる実戦力を養成することを目標とします。頻出問題について解法を改めて確認し、未見の問題についても、どの解法を用いればよいかの判断を的確にできるようにして、問題を解く際のスピードと精度を上げていきます。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	公務員としての使命を修得し、リーダーシップを発揮できる。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することができる。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活へ一般化することができる。		○				○
目標6	学習内容を基にマネジメント能力を修得し、発揮できる。		○		○		
目標7	各種検定試験に向けた学習対策が身についている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことができる。						○

コマ	授業計画 (授業の具体的な実施内容)
1	(対面型) 数と文字式の計算、方程式、不定方程式、過不足算、不等式
2	(対面型) 約数と倍数、最大公約数、最小公倍数、平均算、年齢算
3	(対面型) 整数・計算パズル、n進法、比、比例式、連比、比例配分
4	(対面型) 売買算、濃度、速さ・時間・距離
5	(対面型) 旅人算、通過算、流水算、時計算
6	(対面型) 仕事算、給排水算、ニュートン算
7	(対面型) 場合の数、順列・円順列、数珠順列
8	(対面型) 組合せと道順、事象と確率(余事象的な考え方、独立事象的な考え方の理解、期待値)
9	(対面型) 第1回まとめ試験
10	(対面型) 論理、論理と集合、ベン図、キャロル図、交わりの最小値、
11	(対面型) 順序(順序の変動、順序の数値関係、時計のずれ)
12	(対面型) 位置と方位
13	(対面型) 対応関係、勝ち負け
14	(対面型) ウソの発言、暗号、推理と手順
15	(対面型) 第2回まとめ試験
16	(対面型) 軌跡(直線図形の回転と軌跡、円弧を含む図形の回転と軌跡)
17	(対面型) 折り紙、展開図、サイコロ
18	(対面型) 投影図、立体の切断、相似比、面積比
19	(対面型) 角度、円、移動図形、立体図形
20	(対面型) 単位認定試験

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	学習範囲の予習（テキスト、副教材の読み込み、語句等の意味調べ）など
充当時間	約1時間程度
事後学習	学習した内容の復習（テキスト、副教材、プリント類）、宿題など
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	大原オリジナルテキスト
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の得点	60	○	○	○							
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10		○	○					○		○
3	ミニテストの得点	20	○	○	○					○	○	
4	予習・復習に対する実施状況				○						○	
5	課題の達成状況										○	
6	課題の提出状況										○	
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5							○			
8	理解度の低い学生への学習支援	5				○	○	○				
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	追試験を実施する場合は、別途連絡をする。
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	再試験を実施する場合は、別途連絡をする。

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	科目の特性上、講義形式を基本とするが、公務員・警察官・消防官全般の筆記科目試験対策における理系科目全般を教える。科目の特性と学生の学習到達度を分析し、得点力アップの授業を展開する。担当教員は、大手製鉄会社勤務にてシステム管理の仕事に携わった後、独立系ITコンサルティング業務に転じ、民間だけでなく官公庁でのCO2削減プロジェクト管理の仕事も受け持つなど、公務員の心構えも含めての授業を展開する。
-----------------	---

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

223BCD30011	自然科学Ⅰ	natural ScienceⅠ
-------------	-------	------------------

学科名	分野名	学年	学期	単位数	週コマ	方法	科目担当教員
公務員学科	公務員	1	後	2	3	講義	柴田 基博(実務経験教員)

授業の概要	生物と地学の講義を行います。生物は生体の構造、代謝、遺伝、刺激の受容と反応、内部環境の恒常性と調節、生物の集団・進化と系統などについて扱います。地学は地球の内部構造と地震、岩石、大気と海洋、太陽系と宇宙の構造、地層と地質年代などについて扱います。
-------	---

具体的な到達目標とDP等への対応		1	2	3	4	5	6
目標1	公務員としての使命を修得し、リーダーシップを発揮できる。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することができる。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活に一般化することができる。		○				○
目標6	学習内容を基にマネジメント能力を修得し、発揮できる。		○		○		
目標7	各種検定試験に向けた学習対策が身についている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことができる。						○

コマ	授業計画（授業の具体的な実施内容）
1	(対面型) 生体の構造
2	(対面型) 生体内の代謝
3	(対面型) 生体内の代謝
4	(対面型) 生殖と発生、変異と遺伝
5	(対面型) 変異と遺伝
6	(対面型) 刺激の受容と反応
7	(対面型) 内部環境の恒常性と調整
8	(対面型) 内部環境の恒常性と調整
9	(対面型) 生物の集団
10	(対面型) 生物まとめ試験
11	(対面型) 地球の形と内部構造
12	(対面型) 地震
13	(対面型) 岩石（火成岩、変成岩、水成岩）
14	(対面型) 変成岩と造山運動
15	(対面型) 大気圏の構造、大気の運動
16	(対面型) 気象現象（低気圧と高気圧、前線）
17	(対面型) 気象現象（気団、日本の四季、熱帯低気圧と台風）
18	(対面型) 地球の運動
19	(対面型) 太陽系と惑星
20	(対面型) 単位認定試験

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	学習範囲の予習（テキスト、副教材の読み込み、語句等の意味調べ）など
充当時間	約1時間程度
事後学習	学習した内容の復習（テキスト、副教材、プリント類）、宿題など
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	大原オリジナルテキスト
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の得点	60	○	○	○							
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10		○	○					○		○
3	ミニテストの得点	20	○	○	○					○	○	
4	予習・復習に対する実施状況				○						○	
5	課題の達成状況										○	
6	課題の提出状況										○	
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5							○			
8	理解度の低い学生への学習支援	5				○	○	○				
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	追試験を実施する場合は、別途連絡をする。
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	再試験を実施する場合は、別途連絡をする。

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	科目の特性上、講義形式を基本とするが、公務員・警察官・消防官全般の筆記科目試験対策における理系科目全般を教える。科目の特性と学生の学習到達度を分析し、得点力アップの授業を展開する。担当教員は、大手製鉄会社勤務にてシステム管理の仕事に携わった後、独立系ITコンサルティング業務に転じ、民間だけでなく官公庁でのCO2削減プロジェクト管理の仕事も受け持つなど、公務員の心構えも含めての授業を展開する。
-----------------	---

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

223BCD30012

自然科学Ⅱ

natural Science II

学科名

分野名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

公務員学科

公務員

1

後

3

3

講義

柴田 基博(実務経験教員)

授業の概要

これまでに学んだ生物・地学の分野について復習するとともに、過去問等の問題演習を通じて、応用力を養成します。また、物理の講義と問題演習を行います。物理は力のつり合い、弾性力、力のモーメント、運動方程式など力学分野を中心に学びます。加えて、熱エネルギーや電気、電力、波動などについても扱います。これまでに学んだ各分野の重要事項については再確認し、頻出問題については確実に正解できるようにすることを目標とします。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	公務員としての使命を修得し、リーダーシップを発揮できる。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することができる。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活に一般化することができる。		○				○
目標6	学習内容を基にマネジメント能力を修得し、発揮できる。		○		○		
目標7	各種検定試験に向けた学習対策が身についている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことができる。						○

コマ	授業計画（授業の具体的な実施内容）
1	(VOD型) 生体の構造
2	(VOD型) 生体内の代謝
3	(対面型) 1・2復習
4	(VOD型) 生殖と発生 遺伝と多様性
5	(VOD型) 遺伝と多様性
6	(対面型) 4・5復習
7	(VOD型) 刺激の受容と反応
8	(VOD型) 体内環境の恒常性と調節
9	(対面型) 7・8復習
10	(対面型) 生物まとめ試験
11	(VOD型) 地球の内部構造と地震
12	(VOD型) 岩石（火成岩、水成岩、変成岩）
13	(対面型) 11・12復習
14	(VOD型) 地球と生命の歴史、日本列島の形成
15	(VOD型) 地球をめぐる大気と大気圏の構造
16	(対面型) 14・15復習
17	(VOD型) 気象現象と大気 天球と日周運動、天球と年周運動
18	(VOD型) 太陽と惑星の特徴、太陽系
19	(対面型) 17・18復習
20	(対面型) 地学まとめ試験

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	学習範囲の予習（テキスト、副教材の読み込み、語句等の意味調べ）など
充当時間	約1時間程度
事後学習	学習した内容の復習（テキスト、副教材、プリント類）、宿題など
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	大原オリジナルテキスト
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標											
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10		
1	単位認定試験の得点	60	○	○	○									
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10		○	○						○			○
3	ミニテストの得点	20	○	○	○						○	○		
4	予習・復習に対する実施状況				○								○	
5	課題の達成状況												○	
6	課題の提出状況												○	
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5								○				
8	理解度の低い学生への学習支援	5				○	○	○						
9														
10														

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	追試験を実施する場合は、別途連絡をする。
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	再試験を実施する場合は、別途連絡をする。

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	科目の特性上、講義形式を基本とするが、公務員・警察官・消防官全般の筆記科目試験対策における理系科目全般を教える。科目の特性と学生の学習到達度を分析し、得点力アップの授業を展開する。担当教員は、大手製鉄会社勤務にてシステム管理の仕事に携わった後、独立系ITコンサルティング業務に転じ、民間だけでなく官公庁でのCO2削減プロジェクト管理の仕事も受け持つなど、公務員の心構えも含めての授業を展開する。
-----------------	---

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名 (日本語)

授業科目名 (英語)

223BCD30012

自然科学Ⅱ

natural Science II

学科名

分野名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

公務員学科

公務員

1

後

3

3

講義

柴田 基博(実務経験教員)

授業の概要

これまでに学んだ生物・地学の分野について復習するとともに、過去問等の問題演習を通じて、応用力を養成します。また、物理の講義と問題演習を行います。物理は力のつり合い、弾性力、力のモーメント、運動方程式など力学分野を中心に学びます。加えて、熱エネルギーや電気、電力、波動などについても扱います。これまでに学んだ各分野の重要事項については再確認し、頻出問題については確実に正解できるようにすることを目標とします。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	公務員としての使命を修得し、リーダーシップを発揮できる。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することができる。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活に一般化することができる。		○				○
目標6	学習内容を基にマネジメント能力を修得し、発揮できる。		○		○		
目標7	各種検定試験に向けた学習対策が身についている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことができる。						○

コマ	授業計画 (授業の具体的な実施内容)
21	(VOD型) 力のつり合い、バネの弾性力、力のモーメント
22	(VOD型) 力のつり合い、バネの弾性力、力のモーメント
23	(対面型) 21・22復習
24	(VOD型) 運動の表現と運動方程式、力学的エネルギー保存則、熱エネルギー
25	(VOD型) 運動の表現と運動方程式、力学的エネルギー保存則、熱エネルギー
26	(対面型) 24・25復習
27	(VOD型) 運動量保存則、はね返り係数、オームの法則と電力
28	(VOD型) 縦波と横波、反射・屈折・回折・干渉、ドップラー効果
29	(対面型) 27・28復習
30	(対面型) 単位認定試験
31	
32	
33	
34	
35	
36	
37	
38	
39	
40	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	学習範囲の予習（テキスト、副教材の読み込み、語句等の意味調べ）など
充当時間	約1時間程度
事後学習	学習した内容の復習（テキスト、副教材、プリント類）、宿題など
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	大原オリジナルテキスト
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の得点	60	○	○	○							
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10		○	○					○		○
3	ミニテストの得点	20	○	○	○					○	○	
4	予習・復習に対する実施状況				○						○	
5	課題の達成状況										○	
6	課題の提出状況										○	
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5							○			
8	理解度の低い学生への学習支援	5				○	○	○				
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	追試験を実施する場合は、別途連絡をする。
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	再試験を実施する場合は、別途連絡をする。

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	科目の特性上、講義形式を基本とするが、公務員・警察官・消防官全般の筆記科目試験対策における理系科目全般を教える。科目の特性と学生の学習到達度を分析し、得点力アップの授業を展開する。担当教員は、大手製鉄会社勤務にてシステム管理の仕事に携わった後、独立系ITコンサルティング業務に転じ、民間だけでなく官公庁でのCO2削減プロジェクト管理の仕事も受け持つなど、公務員の心構えも含めての授業を展開する。
-----------------	---

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名 (日本語)

授業科目名 (英語)

223BCD30021

文章理解・漢字 I

understand the purpose of the text・Chinese characters I

学科名

分野名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

公務員学科

公務員

1

前

2

1

講義

田村 允鈴

授業の概要

公務員試験の文章理解の科目において多く出題される、日本語現代文の問題を解くためのポイントを解説し、問題演習を行います。具体的には、内容把握、要旨把握、文章整序、空欄補充の各分野と四字熟語、慣用句など国語的分野を扱い、基礎的レベルの問題を確実に解けることを目標とします。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標 1	公務員としての使命を修得し、リーダーシップを発揮できる。	○	○	○			
目標 2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標 3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標 4	学習内容を社会生活へ一般化することができる。		○				○
目標 5	学習内容を自分自身の生活に一般化することができる。		○				○
目標 6	学習内容を基にマネジメント能力を修得し、発揮できる。		○		○		
目標 7	各種検定試験に向けた学習対策が身につけている。					○	○
目標 8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標 9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標 10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことができる。						○

コマ	授業計画 (授業の具体的な実施内容)
1	(対面型) 第1編 基礎国語編 (第1章 文と文章、第2章 指示語、第3章 接続語)
2	(対面型) 第1編 基礎国語編 (第1章 文と文章、第2章 指示語、第3章 接続語)
3	(対面型) 第2編 基礎編 (第1章 内容把握問題の解法 (第1節 接続語、第2節 具体例))
4	(対面型) 第2編 基礎編 (第1章 内容把握問題の解法 (第2節 具体例、第3節 キーワード))
5	(対面型) 第2編 基礎編 (第1章 内容把握問題の解法 (第3節 キーワード、第4節 文末表現))
6	(対面型) 第2編 基礎編 (第1章 内容把握問題の解法 (第4節 文末表現・強調表現))
7	(対面型) 第3編 総合演習 (第1章 内容把握問題、第2章 文章整序問題、第3章 空欄補充問題)
8	(対面型) 第3編 総合演習 (第1章 内容把握問題、第2章 文章整序問題、第3章 空欄補充問題)
9	(対面型) 第3編 総合演習 (第1章 内容把握問題、第2章 文章整序問題、第3章 空欄補充問題)
10	(対面型) 第3編 総合演習 (第1章 内容把握問題、第2章 文章整序問題、第3章 空欄補充問題)
11	(対面型) 第3編 総合演習 (第1章 内容把握問題、第2章 文章整序問題、第3章 空欄補充問題)
12	(対面型) 第3編 総合演習 (第1章 内容把握問題、第2章 文章整序問題、第3章 空欄補充問題)
13	(対面型) 演習問題
14	(対面型) 演習問題
15	(対面型) 演習問題
16	(対面型) 演習問題
17	(対面型) 演習問題
18	(対面型) 演習問題
19	(対面型) 演習問題
20	(対面型) 単位認定試験

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	学習範囲の予習（テキスト、副教材の読み込み、語句等の意味調べ）など
充当時間	約1時間程度
事後学習	学習した内容の復習（テキスト、副教材、プリント類）、宿題など
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	大原オリジナルテキスト
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	評価項目											
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10		
1	単位認定試験の得点	60	○	○	○									
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10		○	○						○			○
3	ミニテストの得点	20	○	○	○						○	○		
4	予習・復習に対する実施状況				○								○	
5	課題の達成状況												○	
6	課題の提出状況												○	
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5								○				
8	理解度の低い学生への学習支援	5				○	○	○						
9														
10														

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	追試験を実施する場合は、別途連絡をする。
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	再試験を実施する場合は、別途連絡をする。

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名 (日本語)

授業科目名 (英語)

223BCD30022

文章理解・漢字Ⅱ

understand the purpose of the text・Chinese charactersⅡ

学科名

分野名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

公務員学科

公務員

2

前

1

1

講義

田村 允鈴

授業の概要

日本語現代文の問題演習を行います。具体的には、これまで学んだ現代文の問題を解くためのポイントを復習し、内容把握、要旨把握、文章整序、空欄補充の各分野の問題演習を行います。さらに国語や漢字についても学び、基礎的レベルの問題を確実に解けることを目標とします。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	公務員としての使命を修得し、リーダーシップを発揮できる。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することができる。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活に一般化することができる。		○				○
目標6	学習内容を基にマネジメント能力を修得し、発揮できる。		○		○		
目標7	各種検定試験に向けた学習対策が身についている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことができる。						○

コマ

授業計画 (授業の具体的な実施内容)

1	(対面型) 実戦演習 (第1章 内容把握問題、第2章 文章整序問題、第3章 空欄補充問題)
2	(対面型) 実戦演習 (第1章 内容把握問題、第2章 文章整序問題、第3章 空欄補充問題)
3	(対面型) 実戦演習 (第1章 内容把握問題、第2章 文章整序問題、第3章 空欄補充問題)
4	(対面型) 実戦演習 (第1章 内容把握問題、第2章 文章整序問題、第3章 空欄補充問題)
5	(対面型) 実戦演習 (第1章 内容把握問題、第2章 文章整序問題、第3章 空欄補充問題)
6	(対面型) 実戦演習 (第1章 内容把握問題、第2章 文章整序問題、第3章 空欄補充問題)
7	(対面型) 国語実戦演習 (第1章 文法問題、第2章 文学史)
8	(対面型) 国語実戦演習 (第1章 文法問題、第2章 文学史)
9	(対面型) 国語実戦演習 (第1章 文法問題、第2章 文学史)
10	(対面型) 単位認定試験
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	学習範囲の予習（テキスト、副教材の読み込み、語句等の意味調べ）など
充当時間	約1時間程度
事後学習	学習した内容の復習（テキスト、副教材、プリント類）、宿題など
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	大原オリジナルテキスト
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の得点	60	○	○	○							
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10		○	○					○		○
3	ミニテストの得点	20	○	○	○					○	○	
4	予習・復習に対する実施状況				○						○	
5	課題の達成状況										○	
6	課題の提出状況										○	
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5							○			
8	理解度の低い学生への学習支援	5				○	○	○				
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	追試験を実施する場合は、別途連絡をする。
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	再試験を実施する場合は、別途連絡をする。

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名 (日本語)

授業科目名 (英語)

223BCD30031

社会科学Ⅰ

social science I

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

公務員学科

なし

1

前

4

3

講義

安藤 隆

授業の概要

公務員試験によく出題される分野を中心に学習します。各分野の基本事項や重要事項を学習したあとに、その分野の過去出題問題を解いていきます。問題演習を通して、頻出事項や難易度、選択枝の構成傾向を理解し、得点力を高めていきます。また、公務員試験対策にとどまらず、政治・経済を理解するために必要な基礎知識の習得を目指します。

政治・経済・社会で学ぶ具体的な項目は、以下の授業計画を参照願います。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	公務員としての使命を修得し、リーダーシップを発揮できる。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活に一般化することが出来る。		○				○
目標6	学習内容を基にマネジメント能力を修得し、発揮できる。		○		○		
目標7	各種検定試験に向けた学習対策が身についている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。						○

コマ

授業計画 (授業の具体的な実施内容)

1	政治：近代国家の基本原理解、国家形態の変遷
2	政治：社会契約説、権力分立論
3	政治：議院内閣制(イギリス、日本)
4	政治：アメリカ大統領制、フランスとドイツの政治制度
5	政治：政党と圧力団体、二党制と多党制
6	政治：日本の選挙制度・議会制度
7	政治：立法過程、行政国家の諸問題
8	政治：日本国憲法の特徴、新旧憲法の比較
9	政治：人権の分類、包括的基本権、新しい人権
10	政治：精神的自由権
11	政治：経済的自由権、人身の自由
12	政治：社会権、参政権、受益権
13	政治：憲法改正の手続き、国会の地位と機構、議員特権
14	政治：衆議院の優越、国会の種類と定足数・議決数
15	政治：議院内閣制、内閣総理大臣と内閣の権能
16	政治：司法権の帰属と独立、裁判官の身分保障
17	政治：裁判所の機構と裁判のしくみ、違憲立法審査権
18	政治：地方自治の意義、地方公共団体の機関と権能
19	政治：住民の権利、直接請求権、地方自治の諸問題
20	経済：経済社会のしくみ、経済体制、経済理論

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	学習範囲の予習（テキスト・副教材の読み込み、レジュメノートの作成）
充当時間	30～60分程度
事後学習	学習内容の復習（テキスト、副教材、演習問題）理解不足箇所を中心に学習
充当時間	30～60分程度
使用テキスト	大原オリジナルテキスト、レジュメ、ドリル『政治』『経済』『社会』
参考資料	講義中および事前・事後にClassroomにて告知する。
参照データ	講義中および事前・事後にClassroomにて告知する。

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の得点	70	○	○	○							
2	対象科目の検定対策等答練の得点	0		○	○					○		○
3	ミニテストの得点	20	○	○	○					○	○	
4	予習・復習に対する実施状況	0			○						○	
5	課題の達成状況	0									○	
6	課題の提出状況	0									○	
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10							○			
8	理解度の低い学生への学習支援	0				○	○	○				
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	追試験を実施する場合は、別途連絡をします。
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	再試験を実施する場合は、別途連絡をします。

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

223BCD30031

社会科学Ⅰ

social science I

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

公務員学科

なし

1

前

4

3

講義

安藤 隆

授業の概要

公務員試験によく出題される分野を中心に学習します。各分野の基本事項や重要事項を学習したあとに、その分野の過去出題問題を解いていきます。問題演習を通して、頻出事項や難易度、選択枝の構成傾向を理解し、得点力を高めていきます。また、公務員試験対策にとどまらず、政治・経済を理解するために必要な基礎知識の習得を目指します。

政治・経済・社会で学ぶ具体的な項目は、以下の授業計画を参照願います。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	公務員としての使命を修得し、リーダーシップを発揮できる。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活に一般化することが出来る。		○				○
目標6	学習内容を基にマネジメント能力を修得し、発揮できる。		○		○		
目標7	各種検定試験に向けた学習対策が身についている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。						○

コマ

授業計画（授業の具体的な実施内容）

21	経済：現代の企業、企業の巨大化、中小企業の現状
22	経済：現代の市場、市場メカニズム、寡占市場
23	経済：国民所得と国富、国民経済計算
24	経済：経済成長と景気循環
25	経済：通貨制度と金融政策、日本銀行の役割
26	経済：財政制度、財政のしくみと役割
27	経済：各種の財政政策
28	経済：貿易と外国為替
29	経済：日本経済の動向
30	経済：国際経済の動向①通貨・金融・貿易
31	経済：国際経済の動向②経済統合・課題
32	社会：社会理論
33	社会：労働問題
34	社会：社会保障
35	社会：日本の環境問題
36	社会：世界の環境問題
37	社会：国際関係
38	社会：現代の諸相・時事問題
39	総復習
40	単位認定試験

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	学習範囲の予習（テキスト・副教材の読み込み、レジュメノートの作成）
充当時間	30～60分程度
事後学習	学習内容の復習（テキスト、副教材、演習問題）理解不足箇所を中心に学習
充当時間	30～60分程度
使用テキスト	大原オリジナルテキスト、レジュメ、ドリル『政治』『経済』『社会』
参考資料	講義中および事前・事後にClassroomにて告知する。
参照データ	講義中および事前・事後にClassroomにて告知する。

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の得点	70	○	○	○							
2	対象科目の検定対策等答練の得点	0		○	○					○		○
3	ミニテストの得点	20	○	○	○					○	○	
4	予習・復習に対する実施状況	0			○						○	
5	課題の達成状況	0									○	
6	課題の提出状況	0									○	
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10							○			
8	理解度の低い学生への学習支援	0				○	○	○				
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	追試験を実施する場合は、別途連絡をします。
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	再試験を実施する場合は、別途連絡をします。

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2＝1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名 (日本語)

授業科目名 (英語)

223BCD30032

社会科学Ⅱ

social science Ⅱ

学科名

コース名

学年

学期

単位数

コマ

方法

科目担当教員

公務員学科

なし

1

通

3

3

講義

安藤 隆

授業の概要

公務員試験によく出題される分野を中心に学習します。各分野の基本事項や重要事項を学習したあとに、その分野の過去出題問題を解いていきます。問題演習を通して、頻出事項や難易度、選択枝の構成傾向を理解し、得点力を高めていきます。また、公務員試験対策にとどまらず、経済・社会を理解するために必要な基礎知識の習得を目指します。

政治・経済・社会で学ぶ具体的な項目は、以下の授業計画を参照願います。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	公務員としての使命を修得し、リーダーシップを発揮できる。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活に一般化することが出来る。		○				○
目標6	学習内容を基にマネジメント能力を修得し、発揮できる。		○		○		
目標7	各種検定試験に向けた学習対策が身についている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。						○

コマ

授業計画 (授業の具体的な実施内容)

1	政治：近代国家の基本原則、国家形態の変遷、社会契約説、権力分立論
2	政治：議院内閣制(イギリス、日本)、アメリカ大統領制
3	政治：政党と圧力団体、二党制と多党制、日本の選挙制度・議会制度
4	政治：日本国憲法の特徴、新旧憲法の比較、包括的基本権、新しい人権
5	政治：精神的自由権、経済的自由権、人身の自由
6	政治：社会権、参政権、受益権、憲法改正の手続き
7	政治：国会の地位と機構、議員特権
8	政治：衆議院の優越、国会の種類と定足数・議決数
9	政治：議院内閣制、内閣総理大臣と内閣の権能
10	政治：司法権の帰属と独立、裁判所の機構と裁判のしくみ、違憲立法審査権
11	政治：地方自治 (地方公共団体の機関と権能、直接請求権、地方自治の諸問題)
12	経済：経済社会のしくみ、経済体制、経済理論
13	経済：現代の企業、企業の巨大化、中小企業の現状
14	経済：現代の市場、市場メカニズム、寡占市場
15	経済：国民所得と国富、国民経済計算
16	経済：経済成長と景気循環
17	経済：通貨制度と金融政策、日本銀行の役割
18	経済：財政制度、財政政策
19	経済：貿易と外国為替
20	経済：日本経済の動向

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	学習範囲の予習（テキスト・副教材の読み込み、レジュメノートの作成）
充当時間	30～60分程度
事後学習	学習内容の復習（テキスト、副教材、演習問題）理解不足箇所を中心に学習
充当時間	30～60分程度
使用テキスト	大原オリジナルテキスト、レジュメ、ドリル『政治』『経済』『社会』
参考資料	講義中および事前・事後にClassroomにて告知する。
参照データ	講義中および事前・事後にClassroomにて告知する。

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	単位認定試験の得点	70	○	○	○										
2	対象科目の検定対策等答練の得点	0		○	○							○			○
3	ミニテストの得点	20	○	○	○							○	○		
4	予習・復習に対する実施状況	0			○								○		
5	課題の達成状況	0											○		
6	課題の提出状況	0											○		
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10									○				
8	理解度の低い学生への学習支援	0				○	○	○							
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	追試験を実施する場合は、別途連絡をします。
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

学科名	コース名	学年	学期	単位数	週コマ	方法	科目担当教員
公務員学科	なし	1	通	3	3	講義	安藤 隆
授業の概要	<p>公務員試験によく出題される分野を中心に学習します。各分野の基本事項や重要事項を学習したあとに、その分野の過去出題問題を解いていきます。問題演習を通して、頻出事項や難易度、選択枝の構成傾向を理解し、得点力を高めていきます。また、公務員試験対策にとどまらず、経済・社会を理解するために必要な基礎知識の習得を目指します。</p> <p>政治・経済・社会で学ぶ具体的な項目は、以下の授業計画を参照願います。</p>						
具体的な到達目標とDP等への対応							
		1	2	3	4	5	6
目標1	公務員としての使命を修得し、リーダーシップを発揮できる。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活に一般化することが出来る。		○				○
目標6	学習内容を基にマネジメント能力を修得し、発揮できる。		○		○		
目標7	各種検定試験に向けた学習対策が身についている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につき、問題意識を持つことが出来る。						○
コマ	授業計画（授業の具体的な実施内容）						
コマ	授業計画（授業の具体的な実施内容）						
21	経済：国際経済の動向（通貨・金融・貿易・経済統合）						
22	社会：社会理論						
23	社会：労働問題						
24	社会：社会保障						
25	社会：日本の環境問題						
26	社会：世界の環境問題						
27	社会：国際関係						
28	社会：現代の諸相、時事問題						
29	総復習						
30	単位認定試験						
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	学習範囲の予習（テキスト・副教材の読み込み、レジュメノートの作成）
充当時間	30～60分程度
事後学習	学習内容の復習（テキスト、副教材、演習問題）理解不足箇所を中心に学習
充当時間	30～60分程度
使用テキスト	大原オリジナルテキスト、レジュメ、ドリル『政治』『経済』『社会』
参考資料	講義中および事前・事後にClassroomにて告知する。
参照データ	講義中および事前・事後にClassroomにて告知する。

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標											
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10		
1	単位認定試験の得点	70	○	○	○									
2	対象科目の検定対策等答練の得点	0		○	○							○		○
3	ミニテストの得点	20	○	○	○							○	○	
4	予習・復習に対する実施状況	0			○								○	
5	課題の達成状況	0											○	
6	課題の提出状況	0											○	
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10								○				
8	理解度の低い学生への学習支援	0				○	○	○						
9														
10														

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	追試験を実施する場合は、別途連絡をします。
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

223BCD30033

社会科学Ⅲ

social scienceⅢ

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

公務員学科

なし

1

後

2

2

講義

安藤 隆

授業の概要

これまでに学んだ政治・経済・社会の分野について復習するとともに、過去出題問題等の問題演習を通じて、実戦力を養成します。これまでに学んだ各分野の重要事項について再確認し、頻出問題については確実に正解できるようにすることが目標です。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	公務員としての使命を修得し、リーダーシップを発揮できる。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活に一般化することが出来る。		○				○
目標6	学習内容を基にマネジメント能力を修得し、発揮できる。		○		○		
目標7	各種検定試験に向けた学習対策が身についている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。						○

コマ

授業計画（授業の具体的な実施内容）

1	政治：近代国家、社会契約論、議院内閣制と大統領制
2	政治：日本国憲法、基本的人権
3	政治：包括的基本権、新しい人権、自由権①
4	政治：自由権②、参政権、社会権、受益権
5	政治：国会の権能、議院の権能
6	政治：内閣と内閣総理大臣の権能、裁判所の権能と違憲立法審査権
7	政治：地方自治
8	政治：政党と圧力団体、日本の選挙制度
9	経済：現代の企業と現代の市場、国民所得と国民経済計算
10	経済：経済成長と景気循環
11	経済：通貨制度と金融政策
12	経済：財政制度と財政政策
13	経済：貿易と外国為替
14	経済：日本経済の動向、国際経済の動向
15	社会：社会集団と現代社会、青年期の課題
16	社会：労働問題、労働組合と労働争議、現代日本の労働状況
17	社会：社会保障制度と課題、日本の社会保障制度
18	社会：環境問題と国際関係
19	総復習
20	単位認定試験

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	学習範囲の予習（テキスト・副教材・レジュメノートの確認）
充当時間	30～60分程度
事後学習	学習内容の復習（不正解や解けなかった問題を中心に学習）
充当時間	30～60分程度
使用テキスト	大原オリジナルテキスト・問題集『社会科学Ⅰ』
参考資料	講義中および事前・事後にClassroomにて告知する。
参照データ	講義中および事前・事後にClassroomにて告知する。

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	単位認定試験の得点	70	○	○	○										
2	対象科目の検定対策等答練の得点	0		○	○							○			○
3	ミニテストの得点	20	○	○	○							○	○		
4	予習・復習に対する実施状況	0			○									○	
5	課題の達成状況	0												○	
6	課題の提出状況	0												○	
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10									○				
8	理解度の低い学生への学習支援	0				○	○	○							
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	追試験を実施する場合は、別途連絡をします。
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2＝1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

223BCD30034

社会科学IV

social scienceIV

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

公務員学科

なし

2

前

2

2

講義

安藤 隆

授業の概要

これまでに学んだ政治・経済・社会の分野について復習するとともに、過去出題問題等の問題演習を通じて、応用力を養成します。これまでに学んだ各分野の重要事項や周辺事項、関連事項についても知識を深め、難易度の高い問題も正解できるようにすることが目標です。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	公務員としての使命を修得し、リーダーシップを発揮できる。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活に一般化することが出来る。		○				○
目標6	学習内容を基にマネジメント能力を修得し、発揮できる。		○		○		
目標7	各種検定試験に向けた学習対策が身についている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。						○

コマ	授業計画（授業の具体的な実施内容）
1	政治：近代国家、社会契約論、議院内閣制と大統領制
2	政治：日本国憲法、基本的人権
3	政治：包括的基本権、新しい人権、精神的自由権
4	政治：経済的自由権、人身の自由、参政権、社会権、受益権
5	政治：国会の権能、議院の権能
6	政治：内閣と内閣総理大臣の権能、裁判所の権能と違憲立法審査権
7	政治：地方自治
8	政治：政党と圧力団体、日本の選挙制度
9	経済：現代の企業と現代の市場、国民所得と国民経済計算
10	経済：経済成長と景気循環
11	経済：通貨制度と金融政策
12	経済：財政制度と財政政策
13	経済：貿易と外国為替
14	経済：日本経済の動向、国際経済の動向
15	社会：社会集団と現代社会、青年期の課題
16	社会：労働問題、労働組合と労働争議、現代日本の労働状況
17	社会：社会保障制度と課題、日本の社会保障制度
18	社会：環境問題と国際関係
19	総復習
20	単位認定試験

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	学習範囲の予習（テキスト・副教材・レジュメノートの確認）
充当時間	30分程度
事後学習	学習内容の復習（不正解や解けなかった問題を中心に学習）
充当時間	30～60分程度
使用テキスト	大原オリジナルテキスト・問題集『社会科学Ⅱ』
参考資料	講義中および事前・事後にClassroomにて告知する。
参照データ	講義中および事前・事後にClassroomにて告知する。

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	単位認定試験の得点	70	○	○	○										
2	対象科目の検定対策等答練の得点	0		○	○							○			○
3	ミニテストの得点	0	○	○	○							○	○		
4	予習・復習に対する実施状況	0			○								○		
5	課題の達成状況	0											○		
6	課題の提出状況	0											○		
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	30									○				
8	理解度の低い学生への学習支援	0				○	○	○							
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	追試験を実施する場合は、別途連絡をします。
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	再試験を実施する場合は、別途連絡をします。

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

223BCD30041	人文科学 I	Humanities I
-------------	--------	--------------

学科名	コース名	学年	学期	単位数	コマ	方法	科目担当教員
公務員学科	なし	1	前	3	3	講義	安藤 隆

授業の概要	公務員試験によく出題される分野を中心に学習します。各分野の基本事項や重要事項を学習したあとに、その分野の過去出題問題を解いていきます。問題演習を通して、頻出事項や難易度、選択枝の構成傾向を理解し、得点力を高めていきます。また、公務員試験対策にとどまらず、地理・日本史を理解するために必要な基礎知識の習得を目指します。地理は各種地形、気候・土壌・植生、農牧業、鉱工業、人種と民族、貿易、日本地理、世界地誌について学び、日本史は、古代、中世、近世、近代と年代順に政治や経済、外交、文化などについて学んでいきます。
-------	--

具体的な到達目標とDP等への対応		1	2	3	4	5	6
目標 1	公務員としての使命を修得し、リーダーシップを発揮できる。	○	○	○			
目標 2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標 3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標 4	学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。		○				○
目標 5	学習内容を自分自身の生活に一般化することが出来る。		○				○
目標 6	学習内容を基にマネジメント能力を修得し、発揮できる。		○		○		
目標 7	各種検定試験に向けた学習対策が身につけている。					○	○
目標 8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標 9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標 10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。						○

コマ	授業計画（授業の具体的な実施内容）
1	地理：世界の大地形、山地と平野の地形
2	地理：その他の地形、海流
3	地理：気候要素と気候因子、世界の風系
4	地理：ケッペンの気候区分、ハイサーグラフの判定
5	地理：土壌と植生の分布
6	地理：世界の農牧業地域、主要作物の生産と貿易
7	地理：エネルギー資源と鉱産資源
8	地理：世界の工業地域(欧州、USA、中国)
9	地理：都市化と都市問題
10	地理：人口構成、人種と民族、民族問題
11	地理：世界の貿易取引、環境問題
12	地理：日本地理(国土、自然環境、人口)
13	地理：日本地理(農業、工業、貿易)
14	地理：世界地誌(アジア、ヨーロッパ)
15	地理：世界地誌(アフリカ、南北アメリカ、オセアニア)
16	日本史：聖徳太子の政治、大化の改新
17	日本史：奈良時代の政治、律令体制の完成、荘園の発生
18	日本史：平安時代の政治、荘園の発達、摂関政治、院政
19	日本史：平氏と源氏、古代の文化
20	日本史：鎌倉時代、室町時代、中世の文化

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	学習範囲の予習（テキスト・副教材の読み込み、レジュメノートの作成）
充当時間	30～60分程度
事後学習	学習内容の復習（テキスト、副教材、演習問題）理解不足箇所を中心に学習
充当時間	30～60分程度
使用テキスト	大原オリジナルテキスト、レジュメ、ドリル『地理』『日本史』
参考資料	講義中および事前・事後にClassroomにて告知する。
参照データ	講義中および事前・事後にClassroomにて告知する。

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標											
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10		
1	単位認定試験の得点	70	○	○	○									
2	対象科目の検定対策等答練の得点	0		○	○							○		○
3	ミニテストの得点	20	○	○	○							○	○	
4	予習・復習に対する実施状況	0			○								○	
5	課題の達成状況	0											○	
6	課題の提出状況	0											○	
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10									○			
8	理解度の低い学生への学習支援	0				○	○	○						
9														
10														

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	追試験を実施する場合は、別途連絡をします。
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	再試験を実施する場合は、別途連絡をします。

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

223BCD30041	人文科学 I	Humanities I
-------------	--------	--------------

学科名	コース名	学年	学期	単位数	週コマ	方法	科目担当教員
公務員学科	なし	1	前	3	3	講義	安藤 隆

授業の概要	公務員試験によく出題される分野を中心に学習します。各分野の基本事項や重要事項を学習したあとに、その分野の過去出題問題を解いていきます。問題演習を通して、頻出事項や難易度、選択枝の構成傾向を理解し、得点力を高めていきます。また、公務員試験対策にとどまらず、地理・日本史を理解するために必要な基礎知識の習得を目指します。地理は各種地形、気候・土壌・植生、農牧業、鉱工業、人種と民族、貿易、日本地理、世界地誌について学び、日本史は、古代、中世、近世、近代と年代順に政治や経済、外交、文化などについて学んでいきます。
-------	--

具体的な到達目標とDP等への対応		1	2	3	4	5	6
目標 1	公務員としての使命を修得し、リーダーシップを発揮できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
目標 2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
目標 3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				<input type="radio"/>
目標 4	学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。		<input type="radio"/>				<input type="radio"/>
目標 5	学習内容を自分自身の生活に一般化することが出来る。		<input type="radio"/>				<input type="radio"/>
目標 6	学習内容を基にマネジメント能力を修得し、発揮できる。		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		
目標 7	各種検定試験に向けた学習対策が身についている。					<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
目標 8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>		
目標 9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				<input type="radio"/>		
目標 10	予習・復習の習慣が身につき、問題意識を持つことが出来る。						<input type="radio"/>

コマ	授業計画（授業の具体的な実施内容）
21	日本史：安土桃山時代と江戸幕府の成立
22	日本史：幕藩体制と三大改革
23	日本史：元禄文化と化政文化、幕藩体制の動揺
24	日本史：開国後の幕末の状況、明治維新
25	日本史：富国強兵と殖産興業、自由民権運動と憲法・国会の成立
26	日本史：条約改正と日清戦争・日露戦争
27	日本史：第一次世界大戦期の状況
28	日本史：大正～昭和初期の状況、近代の文化
29	総復習
30	単位認定試験
31	
32	
33	
34	
35	
36	
37	
38	
39	
40	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	学習範囲の予習（テキスト・副教材の読み込み、レジュメノートの作成）
充当時間	30～60分程度
事後学習	学習内容の復習（テキスト、副教材、演習問題）理解不足箇所を中心に学習
充当時間	30～60分程度
使用テキスト	大原オリジナルテキスト、レジュメ、ドリル『地理』『日本史』
参考資料	講義中および事前・事後にClassroomにて告知する。
参照データ	講義中および事前・事後にClassroomにて告知する。

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の得点		○	○	○							
2	対象科目の検定対策等答練の得点			○	○					○		○
3	ミニテストの得点		○	○	○					○	○	
4	予習・復習に対する実施状況				○						○	
5	課題の達成状況										○	
6	課題の提出状況										○	
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）								○			
8	理解度の低い学生への学習支援					○	○	○				
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	追試験を実施する場合は、別途連絡をします。
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	再試験を実施する場合は、別途連絡をします。

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

223BCD30042

人文科学Ⅱ

Humanities II

学科名

コース名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

公務員学科

なし

1

後

2

3

講義

安藤 隆

授業の概要

公務員試験によく出題される分野を中心に学習します。各分野の基本事項や重要事項を学習したあとに、その分野の過去出題問題を解いていきます。問題演習を通して、頻出事項や難易度、選択枝の構成傾向を理解し、得点力を高めていきます。また、公務員試験対策にとどまらず、日本史・世界史を理解するために必要な基礎知識の習得を目指します。

日本史は戦後やテーマ別に学び、世界史は中国史と西欧史について、古代より現代までの政治・経済・社会・文化について学んでいきます。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	公務員としての使命を修得し、リーダーシップを発揮できる。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活に一般化することが出来る。		○				○
目標6	学習内容を基にマネジメント能力を修得し、発揮できる。		○		○		
目標7	各種検定試験に向けた学習対策が身についている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。						○

コマ	授業計画（授業の具体的な実施内容）
1	日本史：第二次世界大戦と戦後の状況
2	日本史：日本通史・テーマ問題
3	世界史：中国史①殷・周～秦・漢～魏・晋・南北朝時代
4	世界史：中国史②隋・唐～宋・元
5	世界史：中国史③明・清、清朝末期の状況
6	世界史：イスラム世界
7	世界史：古代ギリシア・ローマ、キリスト教の成立と発展
8	世界史：中世ヨーロッパ社会、フランク王国、神聖ローマ帝国
9	世界史：ビザンツ帝国、教皇権の盛衰、十字軍とその影響
10	世界史：ルネサンス、大航海時代、宗教改革
11	世界史：絶対主義の時代、イギリス市民革命
12	世界史：アメリカ独立革命、フランス革命とナポレオン
13	世界史：産業革命、ウィーン体制とその崩壊
14	世界史：19C後半の欧米(イギリス、フランス、イタリア、ドイツ、ロシア、アメリカ合衆国)
15	世界史：帝国主義と列強による世界分割、第一次世界大戦
16	世界史：ヴェルサイユ体制とアジアの民族運動
17	世界史：世界恐慌、ファシズムの台頭、第二次世界大戦
18	世界史：第二次世界大戦後の状況(民族運動、冷戦)
19	総復習
20	単位認定試験

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	学習範囲の予習（テキスト・副教材の読み込み、レジュメノートの作成）
充当時間	30～60分程度
事後学習	学習内容の復習（テキスト、副教材、演習問題）理解不足箇所を中心に学習
充当時間	30～60分程度
使用テキスト	大原オリジナルテキスト、レジュメ、ドリル『日本史』『世界史』
参考資料	講義中および事前・事後にClassroomにて告知する。
参照データ	講義中および事前・事後にClassroomにて告知する。

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標												
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10			
1	単位認定試験の得点	70	○	○	○										
2	対象科目の検定対策等答練の得点	0		○	○							○			○
3	ミニテストの得点	20	○	○	○							○	○		
4	予習・復習に対する実施状況	0			○								○		
5	課題の達成状況	0											○		
6	課題の提出状況	0											○		
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10									○				
8	理解度の低い学生への学習支援	0				○	○	○							
9															
10															

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	追試験を実施する場合は、別途連絡をします。
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	再試験を実施する場合は、別途連絡をします。

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名 (日本語)

授業科目名 (英語)

223BCD30043	人文科学Ⅲ	HumanitiesⅢ
-------------	-------	-------------

学科名	コース名	学年	学期	単位数	週コマ	方法	科目担当教員
公務員学科	なし	1	後	2	2	講義	安藤 隆

授業の概要	これまでに学んだ地理・日本史・世界史の分野について復習するとともに、過去出題問題等の問題演習を通じて、実戦力を養成します。これまでに学んだ各分野の重要事項について再確認し、頻出問題については確実に正解できるようにすることが目標です。
-------	--

具体的な到達目標とDP等への対応		1	2	3	4	5	6
目標1	公務員としての使命を修得し、リーダーシップを発揮できる。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活に一般化することが出来る。		○				○
目標6	学習内容を基にマネジメント能力を修得し、発揮できる。		○		○		
目標7	各種検定試験に向けた学習対策が身についている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。						○

コマ	授業計画 (授業の具体的な実施内容)
1	地理：世界の大地形、山地と平野の地形、海流
2	地理：世界の風系、ケッペンの気候区分、土壌と植生の分布
3	地理：世界の農牧業地域、主要作物の生産と貿易
4	地理：エネルギー資源と鉱産資源、世界の工業地域、世界の貿易取引
5	地理：日本地理
6	地理：世界地誌(アジア、ヨーロッパ、アフリカ、南北アメリカ、オセアニア各地)
7	日本史：古代の政治・経済・社会・外交・文化
8	日本史：中世の政治・経済・社会・外交・文化
9	日本史：近世の政治・経済・社会・外交・文化
10	日本史：近代の政治・経済
11	日本史：近代の社会・外交・文化
12	日本史：現代の政治・経済・社会・外交・文化
13	世界史：中国史①(殷周～秦漢～隋唐)
14	世界史：中国史②(宋元～明清、清朝末期の状況)
15	世界史：西欧史①(古代ギリシア・ローマ、中世ヨーロッパ)
16	世界史：西欧史②(ルネサンス、大航海、宗教改革、絶対主義)
17	世界史：西欧史③(市民革命、ナポレオン時代、産業革命、ウィーン体制)
18	世界史：西欧史④(帝国主義、第一次・二次世界大戦他)
19	総復習
20	単位認定試験

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	学習範囲の予習（テキスト・副教材・レジュメノートの確認）
充当時間	30～60分程度
事後学習	学習内容の復習（不正解や解けなかった問題を中心に学習）
充当時間	30～60分程度
使用テキスト	大原オリジナルテキスト・問題集『人文科学Ⅰ』
参考資料	講義中および事前・事後にClassroomにて告知する。
参照データ	講義中および事前・事後にClassroomにて告知する。

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の得点	70	○	○	○							
2	対象科目の検定対策等答練の得点	0		○	○					○		○
3	ミニテストの得点	20	○	○	○					○	○	
4	予習・復習に対する実施状況	0			○						○	
5	課題の達成状況	0									○	
6	課題の提出状況	0									○	
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10							○			
8	理解度の低い学生への学習支援	0				○	○	○				
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・無	追試験を実施する場合は、別途連絡をします。
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・無	再試験を実施する場合は、別途連絡をします。

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名 (日本語)

授業科目名 (英語)

223BCD30044	人文科学Ⅳ	HumanitiesⅣ
-------------	-------	-------------

学科名	コース名	学年	学期	単位数	週コマ	方法	科目担当教員
公務員学科	なし	2	前	3	2	講義	安藤 隆

授業の概要

これまでに学んだ地理・日本史・世界史の分野について復習するとともに、過去出題問題等の問題演習を通じて、応用力を養成します。これまでに学んだ各分野の重要事項や周辺事項、関連事項についても知識を深め、難易度の高い問題も正解できるようにすることが目標です。

具体的な到達目標とDP等への対応		1	2	3	4	5	6
目標1	公務員としての使命を修得し、リーダーシップを発揮できる。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活へ一般化することが出来る。		○				○
目標6	学習内容を基にマネジメント能力を修得し、発揮できる。		○		○		
目標7	各種検定試験に向けた学習対策が身についている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。						○

コマ	授業計画 (授業の具体的な実施内容)
1	地理：世界の大地形、山地と平野の地形、海流
2	地理：世界の風系、ケッペンの気候区分、土壌と植生の分布
3	地理：世界の農牧業地域、主要作物の生産と貿易
4	地理：エネルギー資源と鉱産資源、世界の工業地域
5	地理：世界の貿易取引
6	地理：日本地理
7	地理：世界地誌(アジア、ヨーロッパ)
8	地理：世界地誌(アフリカ、南北アメリカ、オセアニア各地)
9	日本史：古代の政治・経済
10	日本史：古代の社会・外交・文化
11	日本史：中世の政治・経済
12	日本史：中世の社会・外交・文化
13	日本史：近世の政治・経済
14	日本史：近世の社会・外交・文化
15	日本史：近代の政治・経済
16	日本史：近代の社会・外交・文化
17	日本史：現代の政治・経済・社会・外交・文化
18	日本史：テーマ・通史問題
19	世界史：中国史① (殷周～秦漢)
20	世界史：中国史② (隋唐～宋元)

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	学習範囲の予習（テキスト・副教材・レジュメノートの確認）
充当時間	30分程度
事後学習	学習内容の復習（不正解や解けなかった問題を中心に学習）
充当時間	30～60分程度
使用テキスト	大原オリジナルテキスト・問題集『人文科学Ⅱ』
参考資料	講義中および事前・事後にClassroomにて告知する。
参照データ	講義中および事前・事後にClassroomにて告知する。

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標											
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10		
1	単位認定試験の得点	70	○	○	○									
2	対象科目の検定対策等答練の得点	0		○	○						○			○
3	ミニテストの得点	0	○	○	○						○	○		
4	予習・復習に対する実施状況	0			○							○		
5	課題の達成状況	0										○		
6	課題の提出状況	0										○		
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	30								○				
8	理解度の低い学生への学習支援	0				○	○	○						
9														
10														

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	追試験を実施する場合は、別途連絡をします。
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2＝1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

223BCD30044

人文科学IV

HumanitiesIV

学科名

コース名

学年

学期

単位数

コマ

方法

科目担当教員

公務員学科

なし

2

前

3

2

講義

安藤 隆

授業の概要

これまでに学んだ地理・日本史・世界史の分野について復習するとともに、過去出題問題等の問題演習を通じて、応用力を養成します。これまでに学んだ各分野の重要事項や周辺事項、関連事項についても知識を深め、難易度の高い問題も正解できるようにすることが目標です。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	公務員としての使命を修得し、リーダーシップを発揮できる。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することが出来る。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活へ一般化することが出来る。		○				○
目標6	学習内容を基にマネジメント能力を修得し、発揮できる。		○		○		
目標7	各種検定試験に向けた学習対策が身についている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことが出来る。						○

コマ

授業計画（授業の具体的な実施内容）

21	世界史：中国史③（明清・清朝末期の状況）
22	世界史：西欧史①（古代ギリシア・ローマ）
23	世界史：西欧史②（中世ヨーロッパ、教皇権の盛衰）
24	世界史：西欧史③（十字軍、ルネサンス、大航海時代）
25	世界史：西欧史④（宗教改革、絶対主義）
26	世界史：西欧史⑤（市民革命期）
27	世界史：西欧史⑥（ナポレオン時代、産業革命、ウィーン体制）
28	世界史：西欧史⑦（帝国主義、第一次・二次世界大戦）
29	総復習
30	単位認定試験
31	
32	
33	
34	
35	
36	
37	
38	
39	
40	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	学習範囲の予習（テキスト・副教材・レジュメノートの確認）
充当時間	30分程度
事後学習	学習内容の復習（不正解や解けなかった問題を中心に学習）
充当時間	30～60分程度
使用テキスト	大原オリジナルテキスト・問題集『人文科学Ⅱ』
参考資料	講義中および事前・事後にClassroomにて告知する。
参照データ	講義中および事前・事後にClassroomにて告知する。

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標											
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10		
1	単位認定試験の得点		○	○	○									
2	対象科目の検定対策等答練の得点			○	○						○		○	
3	ミニテストの得点		○	○	○						○	○		
4	予習・復習に対する実施状況				○							○		
5	課題の達成状況											○		
6	課題の提出状況											○		
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）									○				
8	理解度の低い学生への学習支援					○	○	○						
9														
10														

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	追試験を実施する場合は、別途連絡をします。
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	再試験を実施する場合は、別途連絡をします。

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名 (日本語)

授業科目名 (英語)

223BCD30051

基礎演習Ⅰ

basic exercises I

学科名

分野名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

公務員学科

公務員

1

前

1

2

演習

八木 誠

授業の概要

公務員試験の1次試験の模擬試験を行います。問題のレベルは基礎的なものとします。試験本番と同じ時間を使い、同じ数の問題を解くことにより、試験本番に向けて実践的な訓練を積み、合格点に達することを目標とします。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	公務員としての使命を修得し、リーダーシップを発揮できる。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することができる。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活に一般化することができる。		○				○
目標6	学習内容を基にマネジメント能力を修得し、発揮できる。		○		○		
目標7	各種検定試験に向けた学習対策が身につけている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことができる。						○

コマ	授業計画 (授業の具体的な実施内容)
1	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ①
2	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ①、解答解説
3	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ②
4	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ②、解答解説
5	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ③
6	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ③、解答解説
7	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ④
8	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ④、解答解説
9	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑤
10	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑤、解答解説、【単位認定試験】
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	前回の問題と解答・解説をよく読み、同じ間違いをしないように学習する。
充当時間	約30分間程度
事後学習	基礎演習答練で間違えた問題の確認・復習
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	大原オリジナルテキスト「模擬試験問題&解答解説」
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の得点	60	○	○	○							
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10		○	○					○		○
3	ミニテストの得点	20	○	○	○					○	○	
4	予習・復習に対する実施状況				○						○	
5	課題の達成状況										○	
6	課題の提出状況										○	
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5							○			
8	理解度の低い学生への学習支援	5				○	○	○				
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	追試験を実施する場合は、別途連絡をする。
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	再試験を実施する場合は、別途連絡をする。

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名 (日本語)

授業科目名 (英語)

223BCD30052

基礎演習 II

basic exercises II

学科名

分野名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

公務員学科

公務員

1

後

1

2

演習

八木 誠

授業の概要

公務員試験の1次試験の模擬試験を行います。問題のレベルは基礎的なものとします。試験本番と同じ時間を使い、同じ数の問題を解くことにより、試験本番に向けて実践的な訓練を積み、合格点に達することを目標とします。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	公務員としての使命を修得し、リーダーシップを発揮できる。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することができる。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活へ一般化することができる。		○				○
目標6	学習内容を基にマネジメント能力を修得し、発揮できる。		○		○		
目標7	各種検定試験に向けた学習対策が身についている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことができる。						○

コマ

授業計画 (授業の具体的な実施内容)

1	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ①
2	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ①、解答解説
3	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ②
4	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ②、解答解説
5	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ③
6	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ③、解答解説
7	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ④
8	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ④、解答解説
9	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑤
10	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑤、解答解説、【単位認定試験】
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	前回の問題と解答・解説をよく読み、同じ間違いをしないように学習する。
充当時間	約30分間程度
事後学習	基礎演習答練で間違えた問題の確認・復習
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	大原オリジナルテキスト「模擬試験問題&解答解説」
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標											
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10		
1	単位認定試験の得点	60	○	○	○									
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10		○	○						○		○	
3	ミニテストの得点	20	○	○	○						○	○		
4	予習・復習に対する実施状況				○							○		
5	課題の達成状況											○		
6	課題の提出状況											○		
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5							○					
8	理解度の低い学生への学習支援	5				○	○	○						
9														
10														

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	追試験を実施する場合は、別途連絡をする。
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	再試験を実施する場合は、別途連絡をする。

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名 (日本語)

授業科目名 (英語)

223BCD30061

作文・面接対策

Writing and interview practice

学科名

分野名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

公務員学科

公務員

2

前

1

1

講義

田村 允鈴

授業の概要

公務員試験の作文試験の対策を中心に実施します。頻出項目から作文を作成し、添削後のアドバイスから作文能力の向上を図ります。また、面接対策では、入退室の仕方などの面接時の所作の確認、志望動機、自己PRの練習を行い、実際の面接試験に備えます。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	公務員としての使命を修得し、リーダーシップを発揮できる。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することができる。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活に一般化することができる。		○				○
目標6	学習内容を基にマネジメント能力を修得し、発揮できる。		○		○		
目標7	各種検定試験に向けた学習対策が身につけている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことができる。						○

コマ	授業計画 (授業の具体的な実施内容)
1	(対面型) 作文「将来の夢」または「私の好きなもの」
2	(対面型) 作文「社会とは何か」
3	(対面型) 作文「少子化・人口減少」または「超高齢社会」
4	(対面型) 作文「地震対策」または「防災対策」
5	(対面型) 作文「地方の活性化・地方創生」
6	(対面型) 作文「失敗から学んだこと」
7	(対面型) 姿勢と所作、お辞儀、入室と退室、発声練習
8	(対面型) 公務員試験二次試験対策
9	(対面型) 公務員試験二次試験対策
10	(対面型) 総まとめ、単位認定試験 (面接)
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	作文は、試験の傾向から、出題されそうな分野の資料（新聞記事、書評、ニュースなど）を集めて、分野ごとに分類しながら知識を身に付け、試験の対策を行う。面接では、今までキャリアプログラムの中で学習してきたことを思い出し、面接で会話ができるようにエピソードを考える。
充当時間	約1時間程度
事後学習	作文課題の構成・添削箇所の確認。面接官に上手く伝えられなかった内容を修正する。姿勢や所作の練習。
充当時間	約30分程度
使用テキスト	なし
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の得点	60	○	○	○							
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10		○	○					○		○
3	ミニテストの得点	20	○	○	○					○	○	
4	予習・復習に対する実施状況				○						○	
5	課題の達成状況										○	
6	課題の提出状況										○	
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5							○			
8	理解度の低い学生への学習支援	5				○	○	○				
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	追試験を実施する場合は、別途連絡をする。
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	再試験を実施する場合は、別途連絡をする。

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名 (日本語)

授業科目名 (英語)

223BCD30056

実戦演習 I

Exam preparation exercises I

学科名

分野名

学年 学期 単位数

週コマ

方法

科目担当教員

公務員学科

公務員

2

前

5

4

演習

八木 誠

授業の概要

公務員試験の1次試験の模擬試験を行います。問題の難易度をさらに上げて、事務系の適性検査まで含めたより実戦的な訓練を積み、合格点に達することを目標とします。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	公務員としての使命を修得し、リーダーシップを発揮できる。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することができる。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活に一般化することができる。		○				○
目標6	学習内容を基にマネジメント能力を修得し、発揮できる。		○		○		
目標7	各種検定試験に向けた学習対策が身についている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことができる。						○

コマ	授業計画 (授業の具体的な実施内容)
1	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ①
2	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ①、解答解説
3	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ②
4	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ②、解答解説
5	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ③
6	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ③、解答解説
7	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ④
8	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ④、解答解説
9	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑤
10	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑤、解答解説
11	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑥
12	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑥、解答解説
13	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑦
14	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑦、解答解説
15	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑧
16	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑧、解答解説
17	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑨
18	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑨、解答解説
19	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑩
20	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑩、解答解説

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	前回の問題と解答・解説をよく読み、同じ間違いをしないように学習する。
充当時間	約30分間程度
事後学習	実戦演習答練で間違えた問題の確認・復習
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	大原オリジナルテキスト「模擬試験問題&解答解説」
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の得点	60	○	○	○							
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10		○	○					○		○
3	ミニテストの得点	20	○	○	○					○	○	
4	予習・復習に対する実施状況				○						○	
5	課題の達成状況										○	
6	課題の提出状況										○	
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5							○			
8	理解度の低い学生への学習支援	5				○	○	○				
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	追試験を実施する場合は、別途連絡をする。
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	再試験を実施する場合は、別途連絡をする。

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名 (日本語)

授業科目名 (英語)

223BCD30056

実戦演習 I

Exam preparation exercises I

学科名

分野名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

公務員学科

公務員

2

前

5

4

演習

八木 誠

授業の概要

公務員試験の1次試験の模擬試験を行います。問題の難易度をさらに上げて、事務系の適性検査まで含めたより実践的な訓練を積み、合格点に達することを目標とします。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	公務員としての使命を修得し、リーダーシップを発揮できる。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することができる。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活に一般化することができる。		○				○
目標6	学習内容を基にマネジメント能力を修得し、発揮できる。		○		○		
目標7	各種検定試験に向けた学習対策が身につけている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことができる。						○

コマ	授業計画 (授業の具体的な実施内容)
21	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑪
22	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑪、解答解説
23	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑫
24	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑫、解答解説
25	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑬
26	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑬、解答解説
27	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑭
28	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑭、解答解説
29	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑮
30	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑮、解答解説
31	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑯
32	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑯、解答解説
33	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑰
34	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑰、解答解説
35	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑱
36	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑱、解答解説
37	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑲
38	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑲、解答解説
39	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑳
40	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑳、解答解説

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	前回の問題と解答・解説をよく読み、同じ間違いをしないように学習する。
充当時間	約30分間程度
事後学習	実戦演習答練で間違えた問題の確認・復習
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	大原オリジナルテキスト「模擬試験問題&解答解説」
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の得点	60	○	○	○							
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10		○	○					○		○
3	ミニテストの得点	20	○	○	○					○	○	
4	予習・復習に対する実施状況				○						○	
5	課題の達成状況										○	
6	課題の提出状況										○	
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5							○			
8	理解度の低い学生への学習支援	5				○	○	○				
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	追試験を実施する場合は、別途連絡をする。
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	再試験を実施する場合は、別途連絡をする。

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名 (日本語)

授業科目名 (英語)

223BCD30056

実戦演習 I

Exam preparation exercises I

学科名

分野名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

公務員学科

公務員

2

前

5

4

演習

八木 誠

授業の概要

公務員試験の1次試験の模擬試験を行います。問題の難易度をさらに上げて、事務系の適性検査まで含めたより実践的な訓練を積み、合格点に達することを目標とします。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	公務員としての使命を修得し、リーダーシップを発揮できる。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することができる。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活に一般化することができる。		○				○
目標6	学習内容を基にマネジメント能力を修得し、発揮できる。		○		○		
目標7	各種検定試験に向けた学習対策が身につけている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことができる。						○

コマ

授業計画 (授業の具体的な実施内容)

41	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ㉑
42	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ㉑、解答解説
43	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ㉒
44	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ㉒、解答解説
45	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ㉓
46	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ㉓、解答解説
47	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ㉔
48	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ㉔、解答解説
49	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ㉕
50	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ㉕、解答解説、【単位認定試験】
51	
52	
53	
54	
55	
56	
57	
58	
59	
60	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	前回の問題と解答・解説をよく読み、同じ間違いをしないように学習する。
充当時間	約30分間程度
事後学習	実戦演習答練で間違えた問題の確認・復習
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	大原オリジナルテキスト「模擬試験問題&解答解説」
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の得点	60	○	○	○							
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10		○	○					○		○
3	ミニテストの得点	20	○	○	○					○	○	
4	予習・復習に対する実施状況				○						○	
5	課題の達成状況										○	
6	課題の提出状況										○	
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5							○			
8	理解度の低い学生への学習支援	5				○	○	○				
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	追試験を実施する場合は、別途連絡をする。
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	再試験を実施する場合は、別途連絡をする。

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

223BCD30066

公務員（行政職対策）

Measures for civil service exams (administrative positions)

学科名	分野名	学年	学期	単位数	週コマ	方法	科目担当教員
公務員学科	公務員	2	前	4	4	演習	八木 誠

授業の概要

公務員試験の1次試験の模擬試験を行います。問題の難易度をさらに上げて、事務系の適性検査まで含めたより実践的な訓練を積み、合格点に達することを目標とします。

具体的な到達目標とDP等への対応		1	2	3	4	5	6
目標1	公務員としての使命を修得し、リーダーシップを発揮できる。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することができる。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活に一般化することができる。		○				○
目標6	学習内容を基にマネジメント能力を修得し、発揮できる。		○		○		
目標7	各種検定試験に向けた学習対策が身についている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことができる。						○

コマ	授業計画（授業の具体的な実施内容）
1	（対面型）答案練習会（模擬試験）①
2	（対面型）答案練習会（模擬試験）①、解答解説
3	（対面型）答案練習会（模擬試験）②
4	（対面型）答案練習会（模擬試験）②、解答解説
5	（対面型）答案練習会（模擬試験）③
6	（対面型）答案練習会（模擬試験）③、解答解説
7	（対面型）答案練習会（模擬試験）④
8	（対面型）答案練習会（模擬試験）④、解答解説
9	（対面型）答案練習会（模擬試験）⑤
10	（対面型）答案練習会（模擬試験）⑤、解答解説
11	（対面型）答案練習会（模擬試験）⑥
12	（対面型）答案練習会（模擬試験）⑥、解答解説
13	（対面型）答案練習会（模擬試験）⑦
14	（対面型）答案練習会（模擬試験）⑦、解答解説
15	（対面型）答案練習会（模擬試験）⑧
16	（対面型）答案練習会（模擬試験）⑧、解答解説
17	（対面型）答案練習会（模擬試験）⑨
18	（対面型）答案練習会（模擬試験）⑨、解答解説
19	（対面型）答案練習会（模擬試験）⑩
20	（対面型）答案練習会（模擬試験）⑩、解答解説

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	前回の問題と解答・解説をよく読み、同じ間違いをしないように学習する。
充当時間	約30分間程度
事後学習	公務員対策答練で間違えた問題の確認・復習
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	大原オリジナルテキスト「模擬試験問題&解答解説」
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	評価項目											
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10		
1	単位認定試験の得点	60	○	○	○									
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10		○	○						○			○
3	ミニテストの得点	20	○	○	○						○	○		
4	予習・復習に対する実施状況				○								○	
5	課題の達成状況												○	
6	課題の提出状況												○	
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5								○				
8	理解度の低い学生への学習支援	5				○	○	○						
9														
10														

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	追試験を実施する場合は、別途連絡をする。
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	再試験を実施する場合は、別途連絡をする。

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名 (日本語)

授業科目名 (英語)

223BCD30066

公務員 (行政職対策)

Measures for civil service exams (administrative positions)

学科名	分野名	学年	学期	単位数	週コマ	方法	科目担当教員
公務員学科	公務員	2	前	4	4	演習	八木 誠

授業の概要

公務員試験の1次試験の模擬試験を行います。問題の難易度をさらに上げて、事務系の適性検査まで含めたより実践的な訓練を積み、合格点に達することを目標とします。

具体的な到達目標とDP等への対応		1	2	3	4	5	6
目標1	公務員としての使命を修得し、リーダーシップを発揮できる。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することができる。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活に一般化することができる。		○				○
目標6	学習内容を基にマネジメント能力を修得し、発揮できる。		○		○		
目標7	各種検定試験に向けた学習対策が身につけている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことができる。						○

コマ	授業計画 (授業の具体的な実施内容)
21	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑪
22	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑪、解答解説
23	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑫
24	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑫、解答解説
25	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑬
26	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑬、解答解説
27	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑭
28	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑭、解答解説
29	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑮
30	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑮、解答解説
31	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑯
32	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑯、解答解説
33	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑰
34	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑰、解答解説
35	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑱
36	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑱、解答解説
37	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑲
38	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑲、解答解説
39	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑳
40	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑳、解答解説、【単位認定試験】

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	前回の問題と解答・解説をよく読み、同じ間違いをしないように学習する。
充当時間	約30分間程度
事後学習	公務員対策答練で間違えた問題の確認・復習
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	大原オリジナルテキスト「模擬試験問題&解答解説」
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の得点	60	○	○	○							
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10		○	○					○		○
3	ミニテストの得点	20	○	○	○					○	○	
4	予習・復習に対する実施状況				○						○	
5	課題の達成状況										○	
6	課題の提出状況										○	
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5							○			
8	理解度の低い学生への学習支援	5				○	○	○				
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・無	追試験を実施する場合は、別途連絡をする。
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・無	再試験を実施する場合は、別途連絡をする。

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名 (日本語)

授業科目名 (英語)

223BCD30067

警察官・消防官対策

Preparing for police officer exams and firefighter exams

学科名

分野名

学年 学期 単位数

週コマ 方法

科目担当教員

公務員学科

公務員

2

前

3

4

演習

八木 誠

授業の概要

公務員試験の1次試験の模擬試験を繰り返し行います。合格ラインである6割以上の正解を目指して目標点を設定し、本番の形式に慣れることを目標とします。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	公務員としての使命を修得し、リーダーシップを発揮できる。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することができる。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活に一般化することができる。		○				○
目標6	学習内容を基にマネジメント能力を修得し、発揮できる。		○		○		
目標7	各種検定試験に向けた学習対策が身につけている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことができる。						○

コマ

授業計画 (授業の具体的な実施内容)

1	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ①
2	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ①、解答解説
3	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ②
4	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ②、解答解説
5	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ③
6	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ③、解答解説
7	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ④
8	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ④、解答解説
9	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑤
10	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑤、解答解説
11	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑥
12	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑥、解答解説
13	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑦
14	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑦、解答解説
15	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑧
16	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑧、解答解説
17	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑨
18	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑨、解答解説
19	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑩
20	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑩、解答解説

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	前回の問題と解答・解説をよく読み、同じ間違いをしないように学習する。
充当時間	約30分間程度
事後学習	警察官・消防官対策答練で間違えた問題の確認・復習
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	大原オリジナルテキスト「模擬試験問題&解答解説」
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標											
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10		
1	単位認定試験の得点	60	○	○	○									
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10		○	○						○			○
3	ミニテストの得点	20	○	○	○						○	○		
4	予習・復習に対する実施状況				○								○	
5	課題の達成状況												○	
6	課題の提出状況												○	
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5								○				
8	理解度の低い学生への学習支援	5				○	○	○						
9														
10														

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	追試験を実施する場合は、別途連絡をする。
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	再試験を実施する場合は、別途連絡をする。

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名 (日本語)

授業科目名 (英語)

223BCD30067

警察官・消防官対策

Preparing for police officer exams and firefighter exams

学科名

分野名

学年 学期 単位数

週コマ

方法

科目担当教員

公務員学科

公務員

2

前

3

4

演習

八木 誠

授業の概要

公務員試験の1次試験の模擬試験を繰り返し行います。合格ラインである6割以上の正解を目指して目標点を設定し、本番の形式に慣れることを目標とします。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	公務員としての使命を修得し、リーダーシップを発揮できる。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することができる。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活へ一般化することができる。		○				○
目標6	学習内容を基にマネジメント能力を修得し、発揮できる。		○		○		
目標7	各種検定試験に向けた学習対策が身につけている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことができる。						○

コマ

授業計画 (授業の具体的な実施内容)

21	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑪
22	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑪、解答解説
23	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑫
24	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑫、解答解説
25	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑬
26	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑬、解答解説
27	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑭
28	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑭、解答解説
29	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑮
30	(対面型) 答案練習会 (模擬試験) ⑮、解答解説、【単位認定試験】
31	
32	
33	
34	
35	
36	
37	
38	
39	
40	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	前回の問題と解答・解説をよく読み、同じ間違いをしないように学習する。
充当時間	約30分間程度
事後学習	警察官・消防官対策答練で間違えた問題の確認・復習
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	大原オリジナルテキスト「模擬試験問題&解答解説」
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標											
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10		
1	単位認定試験の得点	60	○	○	○									
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10		○	○						○		○	
3	ミニテストの得点	20	○	○	○						○	○		
4	予習・復習に対する実施状況				○							○		
5	課題の達成状況											○		
6	課題の提出状況											○		
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5								○				
8	理解度の低い学生への学習支援	5				○	○	○						
9														
10														

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	追試験を実施する場合は、別途連絡をする。
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	再試験を実施する場合は、別途連絡をする。

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

223BCD30024	文章理解・英文Ⅰ	understand the purpose of the text・English Ⅰ
-------------	----------	---

学科名	分野名	学年	学期	単位数	週コマ	方法	科目担当教員
公務員学科	公務員	1	前	1	1	講義	新井 光

授業の概要	英語の初学者を対象として、英語の基礎を身につけ、公務員試験の文章理解の科目において出題される、英文の問題を解くためのポイントを解説し、問題演習を行います。具体的には、内容把握、要旨把握、文章整序、空欄補充の各分野を扱い、基礎的レベルの問題を確実に解けることを目標とします。
-------	--

具体的な到達目標とDP等への対応		1	2	3	4	5	6
目標1	公務員としての使命を修得し、リーダーシップを発揮できる。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することができる。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活へ一般化することができる。		○				○
目標6	学習内容を基にマネジメント能力を修得し、発揮できる。		○		○		
目標7	各種検定試験に向けた学習対策が身についている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことができる。						○

コマ	授業計画（授業の具体的な実施内容）
1	（対面型）【動詞の現在形】
2	（対面型）【代名詞】
3	（対面型）【時を表す前置詞】
4	（対面型）【基本5文型】
5	（対面型）基礎編1（内容把握問題の解法）
6	（対面型）基礎編2（内容把握問題の解法）
7	（対面型）総合演習1（内容把握問題、文章整序問題、空欄補充問題）
8	（対面型）総合演習2（内容把握問題、文章整序問題、空欄補充問題）
9	（対面型）総合演習3（内容把握問題、文章整序問題、空欄補充問題）
10	（対面型）単位認定試験
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	学習範囲の予習（テキスト、副教材の読み込み、語句等の意味調べ）など
充当時間	約1時間程度
事後学習	学習した内容の復習（テキスト、副教材、プリント類）、宿題など
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	大原オリジナルテキスト
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

成績評価の対象項目		%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の得点	60	○	○	○							
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10		○	○					○		○
3	ミニテストの得点	20	○	○	○					○	○	
4	予習・復習に対する実施状況				○						○	
5	課題の達成状況										○	
6	課題の提出状況										○	
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5							○			
8	理解度の低い学生への学習支援	5				○	○	○				
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	追試験を実施する場合は、別途連絡をする。
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	再試験を実施する場合は、別途連絡をする。

科目担当教員の実務経験等

--	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名 (日本語)

授業科目名 (英語)

223BCD30025

文章理解・英文Ⅱ

understand the purpose of the text・EnglishⅡ

学科名

分野名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

公務員学科

公務員

2

前

1

1

講義

新井 光

授業の概要

英語の初学者を対象として、英語の基礎を身につけ、公務員試験の文章理解の科目において出題される、英文の問題を解くためのポイントを解説し、問題演習を行います。具体的には、内容把握、要旨把握、文章整序、空欄補充の各分野を扱い、基礎的レベルの問題を確実に解けることを目標とします。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	公務員としての使命を修得し、リーダーシップを発揮できる。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することができる。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活へ一般化することができる。		○				○
目標6	学習内容を基にマネジメント能力を修得し、発揮できる。		○		○		
目標7	各種検定試験に向けた学習対策が身についている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことができる。						○

コマ	授業計画 (授業の具体的な実施内容)
1	(対面型) 【動詞の現在形】
2	(対面型) 【代名詞】
3	(対面型) 【時を表す前置詞】
4	(対面型) 【基本5文型】
5	(対面型) 基礎編1 (内容把握問題の解法)
6	(対面型) 基礎編2 (内容把握問題の解法)
7	(対面型) 総合演習1 (内容把握問題、文章整序問題、空欄補充問題)
8	(対面型) 総合演習2 (内容把握問題、文章整序問題、空欄補充問題)
9	(対面型) 総合演習3 (内容把握問題、文章整序問題、空欄補充問題)
10	(対面型) 単位認定試験
11	
12	
13	
14	
15	
16	
17	
18	
19	
20	

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	学習範囲の予習（テキスト、副教材の読み込み、語句等の意味調べ）など
充当時間	約1時間程度
事後学習	学習した内容の復習（テキスト、副教材、プリント類）、宿題など
充当時間	約30分間程度
使用テキスト	大原オリジナルテキスト
参考資料	なし
参照データ	なし

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
1	単位認定試験の得点	60	○	○	○							
2	対象科目の検定対策等答練の得点	10		○	○					○		○
3	ミニテストの得点	20	○	○	○					○	○	
4	予習・復習に対する実施状況				○						○	
5	課題の達成状況										○	
6	課題の提出状況										○	
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	5							○			
8	理解度の低い学生への学習支援	5				○	○	○				
9												
10												

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	追試験を実施する場合は、別途連絡をする。
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	再試験を実施する場合は、別途連絡をする。

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

シラバスNo.

授業科目名 (日本語)

授業科目名 (英語)

223BCD30071

課題作成 (卒業制作) I

Assignment creation (graduation work) I

学科名

分野名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

公務員学科

公務員

2

後

2

2

演習

八木 誠

授業の概要

各自が設定したテーマに従って研究し、論文を完成させます。テーマの設定にあたっては、卒業後の進路に関する研究を基本とします。それ以外では、学科の特性に即したものと現在働いている業界・企業に関するものとします。テーマに基づいた章立てと項目立て、データの収集とまとめ、MOS-Wordでの入力作業、校正を進めます。発表はPowerPoint資料を作成して実施します。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	公務員としての使命を修得し、リーダーシップを発揮できる。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することができる。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活に一般化することができる。		○				○
目標6	学習内容を基にマネジメント能力を修得し、発揮できる。		○		○		
目標7	各種検定試験に向けた学習対策が身につけている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことができる。						○

コマ

授業計画 (授業の具体的な実施内容)

1	(対面型) 卒業研究についてガイダンス・論文の書式、構成方法等説明。各種提出期限の案内
2	(対面型) 研究テーマについて「卒業論文概要書」の作成
3	(対面型) 「卒業研究論文概要書」提出期限。未提出者へのフォロー
4	(対面型) 個々への助言・指導。「概要書」未提出者へのフォロー
5	(対面型) 個々への助言・指導
6	(対面型) 個々への助言・指導
7	(対面型) 個々への助言・指導
8	(対面型) 個々への助言・指導
9	(対面型) 個々への助言・指導
10	(対面型) 個々への助言・指導
11	(対面型) 各自による 第1回中間発表、個別作業
12	(対面型) 個々への助言・指導
13	(対面型) 個々への助言・指導
14	(対面型) 個々への助言・指導
15	(対面型) 個々への助言・指導
16	(対面型) 個々への助言・指導
17	(対面型) 個々への助言・指導
18	(対面型) 個々への助言・指導
19	(対面型) 個々への助言・指導
20	(対面型) 個々への助言・指導、【単位認定試験】

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	文献、資料等の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に約1時間
事後学習	各授業毎に訂正事項、参考資料の読み返し、指示された課題等への取り組み等
充当時間	各授業毎に約30分間
使用テキスト	なし
参考資料	各種データベース、論文集、図書館等
参照データ	CiNii Articles、CiNii Books、J-STAGE、JAIRO、Google Scholar、PLOS、PubMed、IEEE Xplore®Digital Library、国立国会図書館サーチ、カーリル、各大学・大学院機関リポジトリ、各省庁HP等

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標											
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10		
1	単位認定試験の得点		○	○	○									
2	対象科目の検定対策等答練の得点			○	○						○		○	
3	ミニテストの得点		○	○	○						○	○		
4	予習・復習に対する実施状況				○							○		
5	課題の達成状況	20										○		
6	課題の提出状況	10										○		
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10								○				
8	理解度の低い学生への学習支援					○	○	○						
9	課題の完成度、内容、形式等	60												
10														

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	追試験を実施する場合は、別途連絡をする。
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	再試験を実施する場合は、別途連絡をする。

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。

授業科目名（日本語）

授業科目名（英語）

223BCD30072

課題作成（卒業制作）Ⅱ

Assignment creation (graduation work) Ⅱ

学科名

分野名

学年

学期

単位数

週コマ

方法

科目担当教員

公務員学科

公務員

2

後

2

2

演習

八木 誠

授業の概要

各自が設定したテーマに従って研究し、論文を完成させます。テーマの設定にあたっては、卒業後の進路に関する研究を基本とします。それ以外では、学科の特性に即したもや現在働いている業界・企業に関するものとします。テーマに基づいた章立てと項目立て、データの収集とまとめ、MOS-Wordでの入力作業、校正を進めます。発表はPowerPoint資料を作成して実施します。

具体的な到達目標とDP等への対応

		1	2	3	4	5	6
目標1	公務員としての使命を修得し、リーダーシップを発揮できる。	○	○	○			
目標2	科目毎・各章毎に設定された基本事項を理解できる。	○	○				
目標3	単元毎に設定された基本事項を理解し、応用・発展できる。	○	○				○
目標4	学習内容を社会生活へ一般化することができる。		○				○
目標5	学習内容を自分自身の生活に一般化することができる。		○				○
目標6	学習内容を基にマネジメント能力を修得し、発揮できる。		○		○		
目標7	各種検定試験に向けた学習対策が身についている。					○	○
目標8	理解度の低い学生への学習支援や周囲への配慮が実行できる。			○	○		
目標9	授業の欠席、遅刻、早退等が無く、真摯に取り組んでいる。				○		
目標10	予習・復習の習慣が身につく、問題意識を持つことができる。						○

コマ	授業計画（授業の具体的な実施内容）
1	（対面型）課題作成Ⅰの続き。個々への助言・指導
2	（対面型）研究テーマについて「卒業論文概要書」の作成
3	（対面型）「卒業研究論文概要書」提出期限。未提出者へのフォロー
4	（対面型）個々への助言・指導。「概要書」未提出者へのフォロー
5	（対面型）個々への助言・指導
6	（対面型）個々への助言・指導
7	（対面型）個々への助言・指導
8	（対面型）個々への助言・指導
9	（対面型）各自による 第1回中間発表、個別作業
10	（対面型）個々への助言・指導
11	（対面型）個々への助言・指導
12	（対面型）個々への助言・指導
13	（対面型）個々への助言・指導
14	（対面型）個々への助言・指導
15	（対面型）各自による 第2回中間発表（論文提出）
16	（対面型）PowerPoint資料の作成の説明
17	（対面型）個々への助言・指導
18	（対面型）個々への助言・指導
19	（対面型）個々への助言・指導
20	（対面型）各自による PowerPoint資料を使用した最終発表【単位認定試験】

時間外学習の計画（予習・復習・その他）

事前学習	文献、資料等の事前調査（事前の指示内容や参考資料等について）
充当時間	各授業毎に約1時間
事後学習	各授業毎に訂正事項、参考資料の読み返し、指示された課題等への取り組み等
充当時間	各授業毎に約30分間
使用テキスト	なし
参考資料	各種データベース、論文集、図書館等
参照データ	CiNii Articles、CiNii Books、J-STAGE、JAIRO、Google Scholar、PLOS、PubMed、IEEE Xplore®Digital Library、国立国会図書館サーチ、カーリル、各大学・大学院機関リポジトリ、各省庁HP等

成績評価の方法及び評価項目（成績に反映させる割合）

	成績評価の対象項目	%	目標											
			目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10		
1	単位認定試験の得点		○	○	○									
2	対象科目の検定対策等答練の得点			○	○						○		○	
3	ミニテストの得点		○	○	○						○	○		
4	予習・復習に対する実施状況				○								○	
5	課題の達成状況	20											○	
6	課題の提出状況	10											○	
7	出席率の状況（2/3以上の出席に対して）	10								○				
8	理解度の低い学生への学習支援					○	○	○						
9	課題の完成度、内容、形式等	60												
10														

追試験・再試験の有無

追試験・再試験に関する特記事項

追試験	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	追試験を実施する場合は、別途連絡をする。
再試験	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	再試験を実施する場合は、別途連絡をする。

科目担当教員の実務経験等

当該科目に関する実務経験の内容	
-----------------	--

備考 夜間部の授業は45分×2=1コマで換算する。1日のコマ数は最大2コマ。